

令和7年度 第1回品川区総合教育会議次第

令和7年4月22日(火)午後4時00分～
品川区役所本庁舎5階第五委員会室

司会進行:区長室長

1. 開 会

2. あいさつ 品川区長
 教育長

3. 講 演

(講演テーマ)

放課後からの教育改革

(講師)

NPO 法人放課後 NPO アフタースクール 代表理事 平岩 国泰 氏

4. 意見交換

5. 閉 会

品川区総合教育会議

放課後からの教育改革

 放課後 NPO
アフタースクール

平岩 国泰

自己紹介：平岩 国泰

放課後NPOアフタースクール：代表理事

新渡戸文化学園：理事長

渋谷区教育委員：教育長職務代理

渋谷区：青山キャンパス長

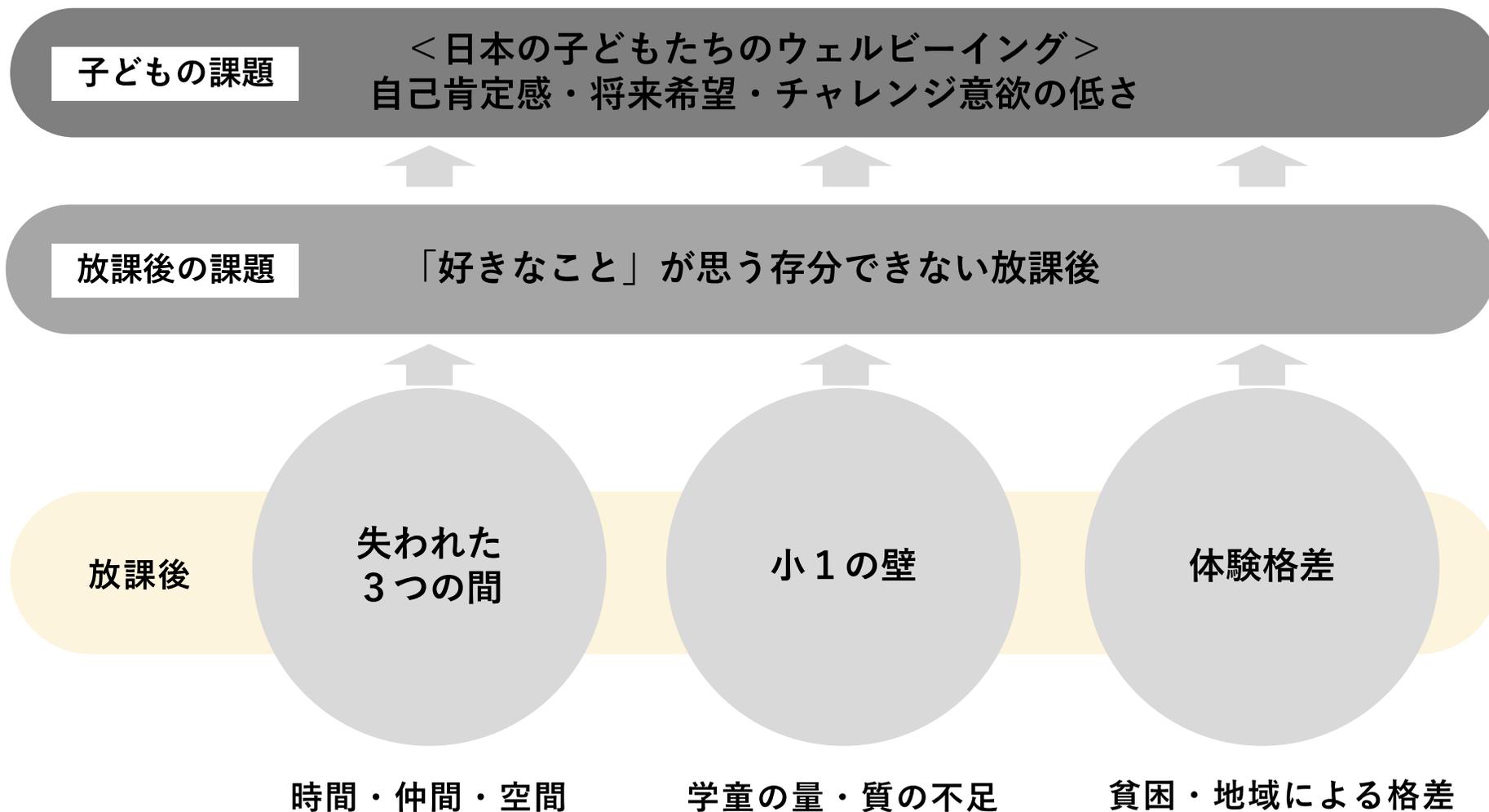
学校も放課後も
公立も私立も
現場も教育委員会も

- ・ 現在、51歳
- ・ 学生、野球に熱中、慶応義塾大学経済学部卒業
- ・ 22歳、株式会社丸井グループへ就職
- ・ 30歳、長女誕生、放課後NPOの活動開始
- ・ 35歳、放課後NPOアフタースクールを法人化
- ・ 37歳、会社を卒業し、教育に専念
- ・ 39歳、文部科学省中央教育審議会専門委員
- ・ 43歳、渋谷区教育委員
- ・ 45歳、新渡戸文化学園理事長
- ・ 49歳、渋谷区教育長職務代理
- ・ 51歳、渋谷区青山キャンパス長



私たちが向き合う課題 (全体像)

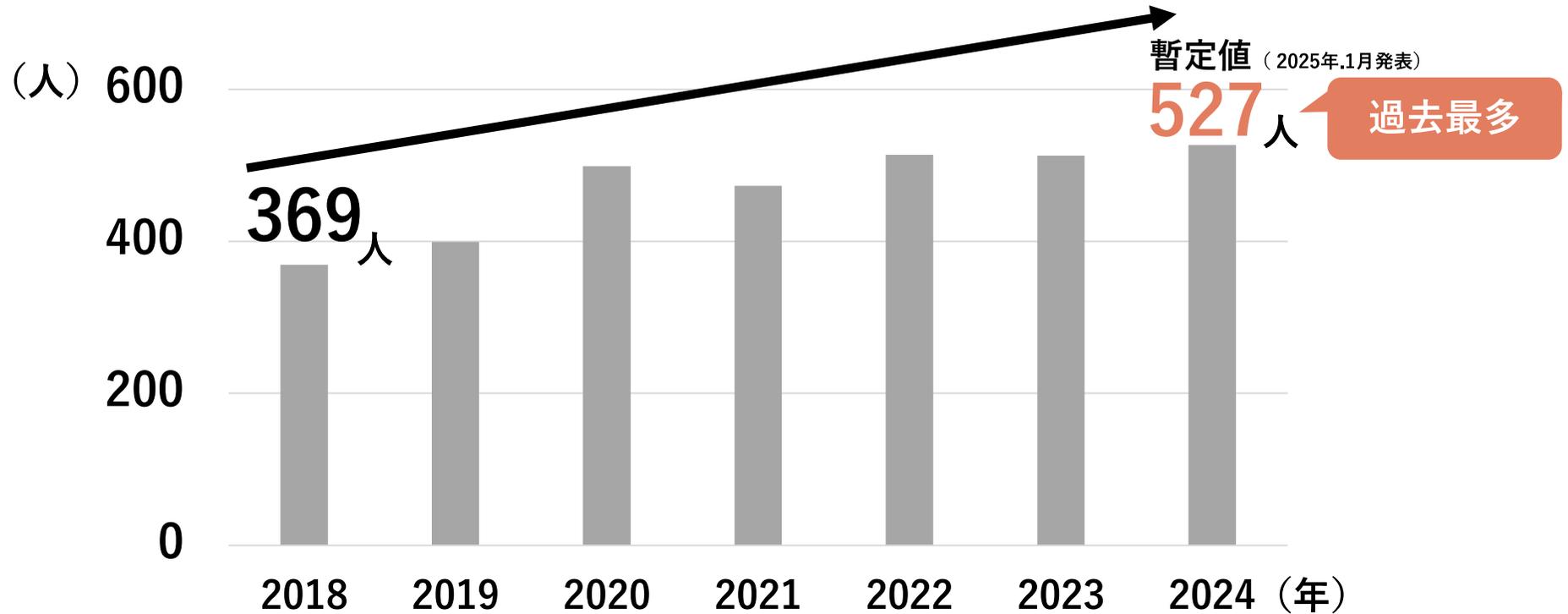




子どもの課題



■ 小中高生の自殺



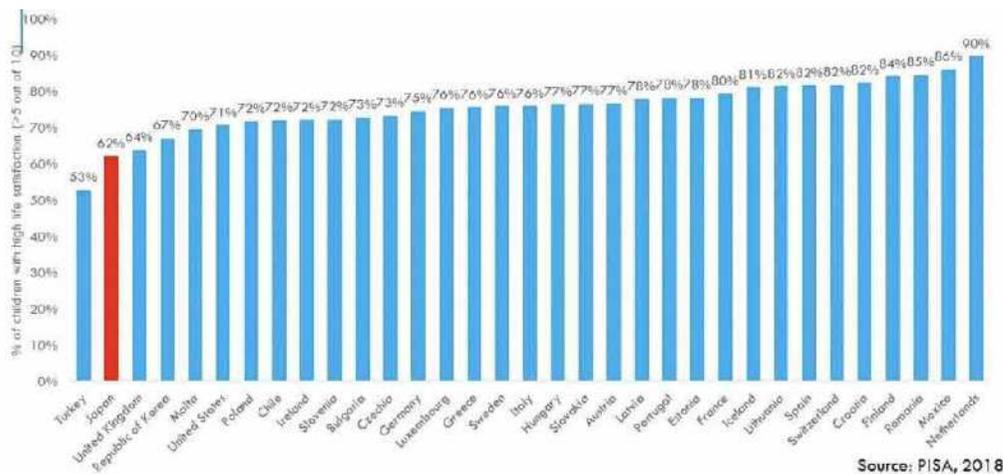
年々増加、2024年には**過去最多**の527人 (暫定値)
10代の死因1位が「自殺」であるのはG7の中で**日本のみ**

日本の子どもの幸福度が低い

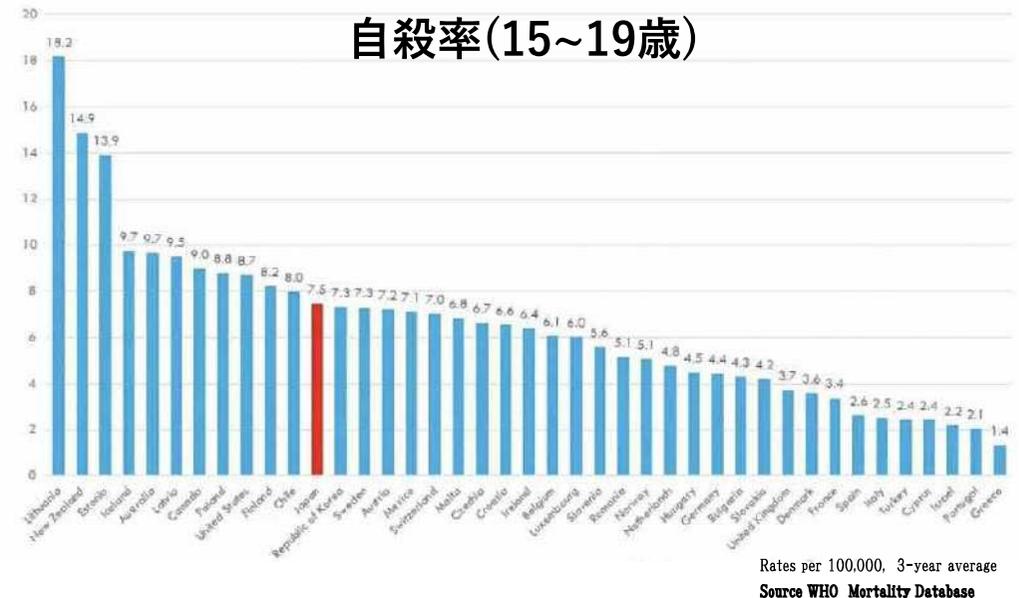
日本の子どもの幸福度は20位/ 38カ国（身体的健康1位 ↔ 精神的幸福度37位）

▼ユニセフ子どもの幸福度(**child well-being**)の結果 — 精神的幸福度（生活満足度/自殺率）

生活満足度



自殺率(15~19歳)

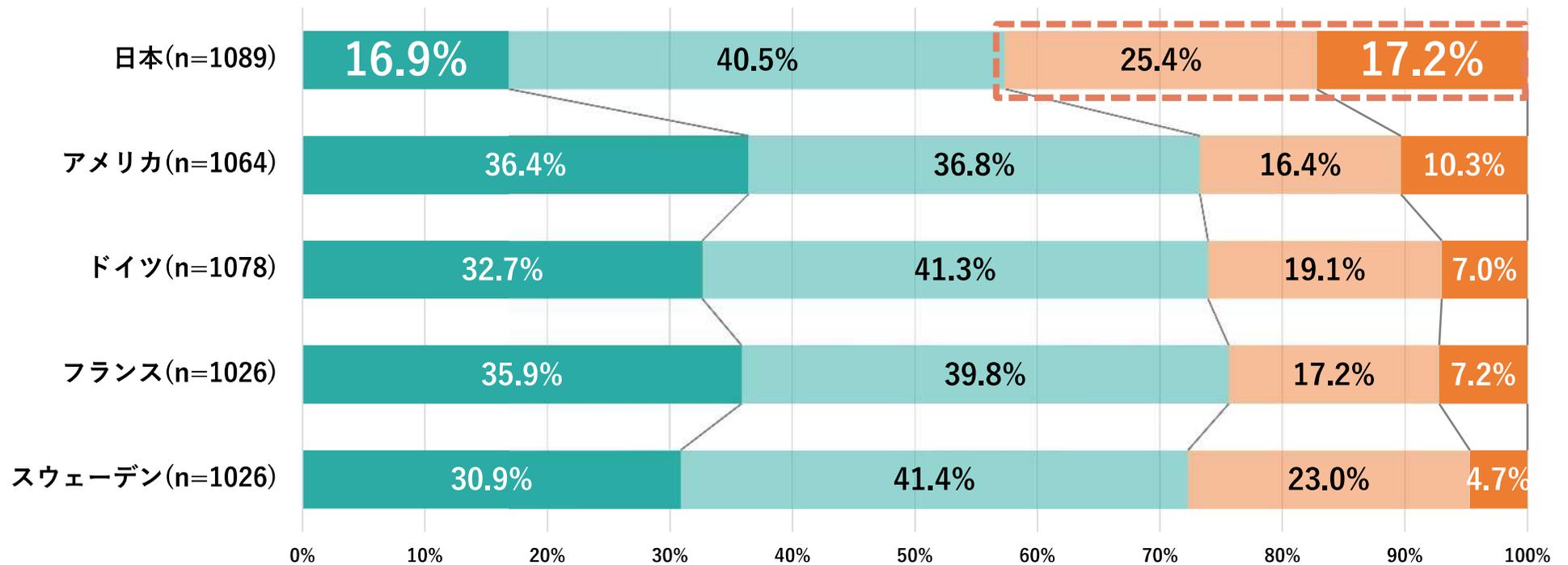


(出典) ユニセフ「レポートカード16」 (公財) 日本ユニセフ協会 (2020年度)

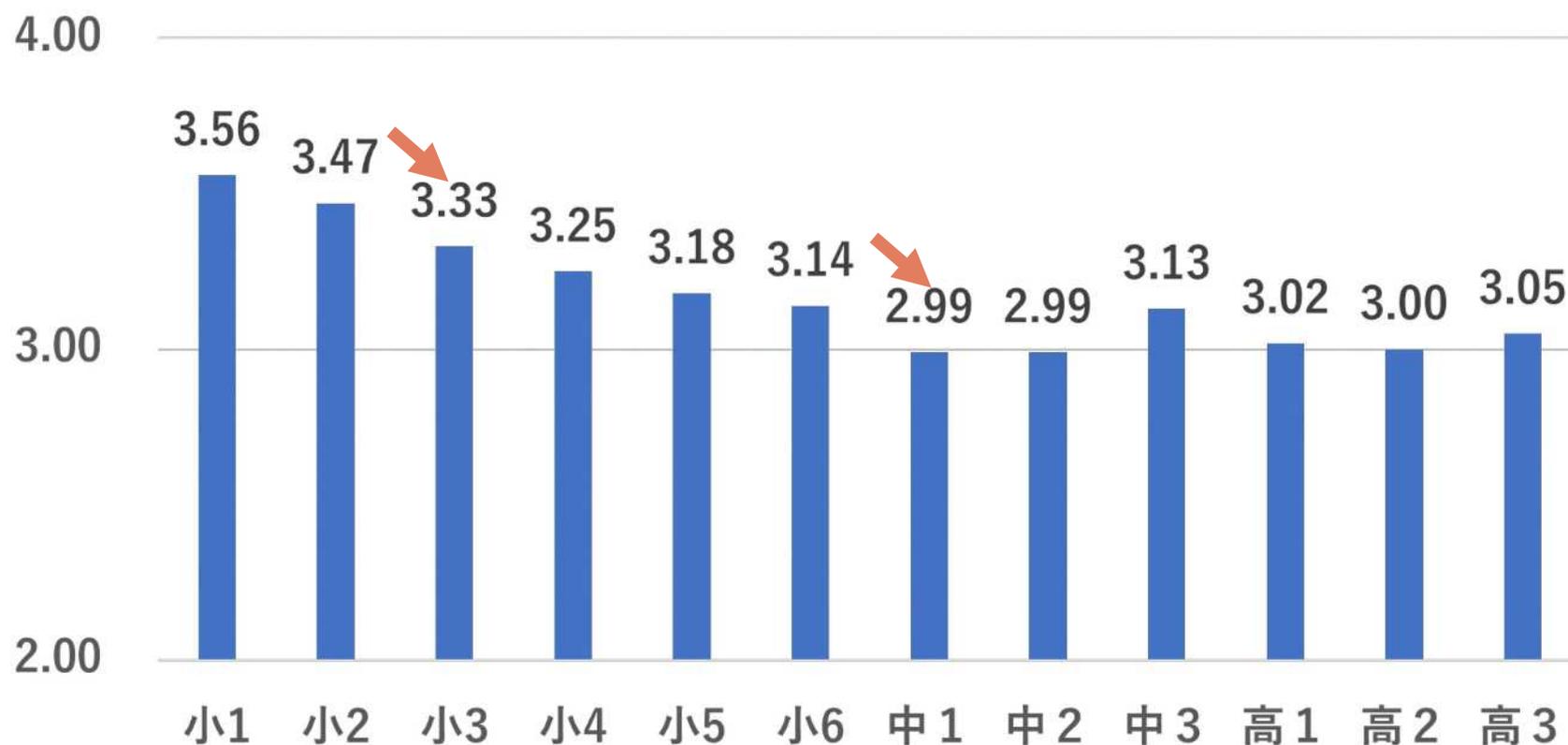
日本の子どもは自己肯定感が低い

▼「自分自身に満足している」諸外国比較

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



(出典) こども家庭庁「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査 (令和5年度)」



(出典) 東京都教職員研修センター、自尊感情や自己肯定感に関する研究 (2008年度) を元に作成

日本の子どもは将来への希望が薄い

▼18歳意識調査「国や社会に対する意識」9カ国比較

(単位：%)	将来の夢を持っている	自分の将来が楽しみである	社会が今後どのように変化するか楽しみである	多少のリスクが伴っても、新しいことに沢山挑戦したい	多少のリスクが伴っても、高い目標を達成したい	リスクのある挑戦よりも、経済的安定を重視する	リスクのある挑戦よりも、心理的安定を重視する
日本	59.6 6位	57.8 6位	54.0 6位	49.0 6位	44.9 6位	70.4 6位	68.3 6位
アメリカ	82.1	79.0	75.6	77.0	79.2	76.5	74.5
イギリス	78.3	75.7	71.1	78.1	81.4	72.6	71.7
中国	84.7	86.9	85.6	79.8	78.8	78.7 1位	78.1 1位
韓国	81.5	77.6	72.3	68.6	67.2	76.6	76.7
インド	93.3 1位	90.6 1位	88.5 1位	84.4 1位	87.6 1位	74.2	75.9

(出典) 日本財団「18歳意識調査」第46回「国や社会に対する意識」(6カ国調査)

日本の若者は自己効力感・チャレンジ意欲が低い



(出典) 日本財団「18歳意識調査」第46回「国や社会に対する意識」(6カ国調査)(2022年3月)₁₁

子どもの課題

<日本の子どもたちのウェルビーイング>

自己肯定感・将来希望・チャレンジ意欲の低さ

小中高の12年間で
諸外国と大きな差がついている

放課後の課題



課題①

失われた
3つの間

失われた3つの間

時間

とにかく忙しい
子どもたち

空間

子どもが襲われる
事件が相次ぎ、街から
子どもが消えた

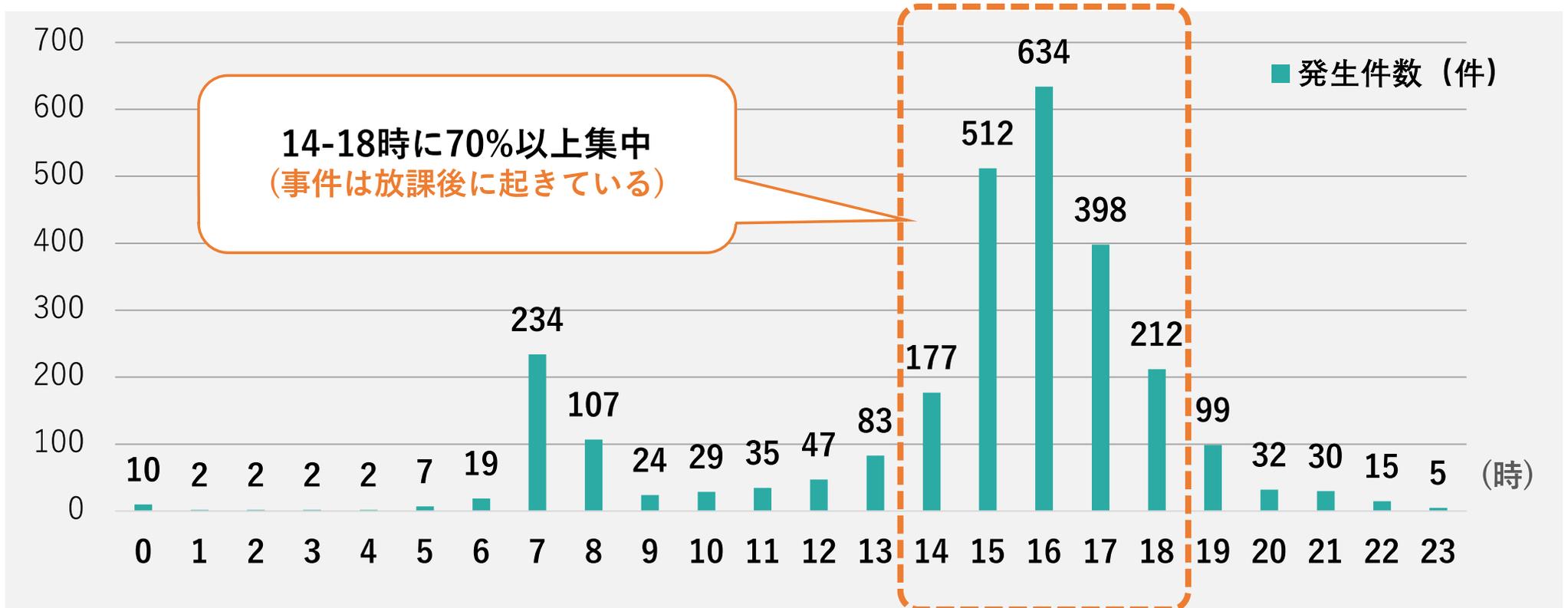
仲間

「ひとりで家で」が中心
アポなしでは
友だちと遊べない

“楽しい放課後”がなくなった？

事件は放課後に起きている

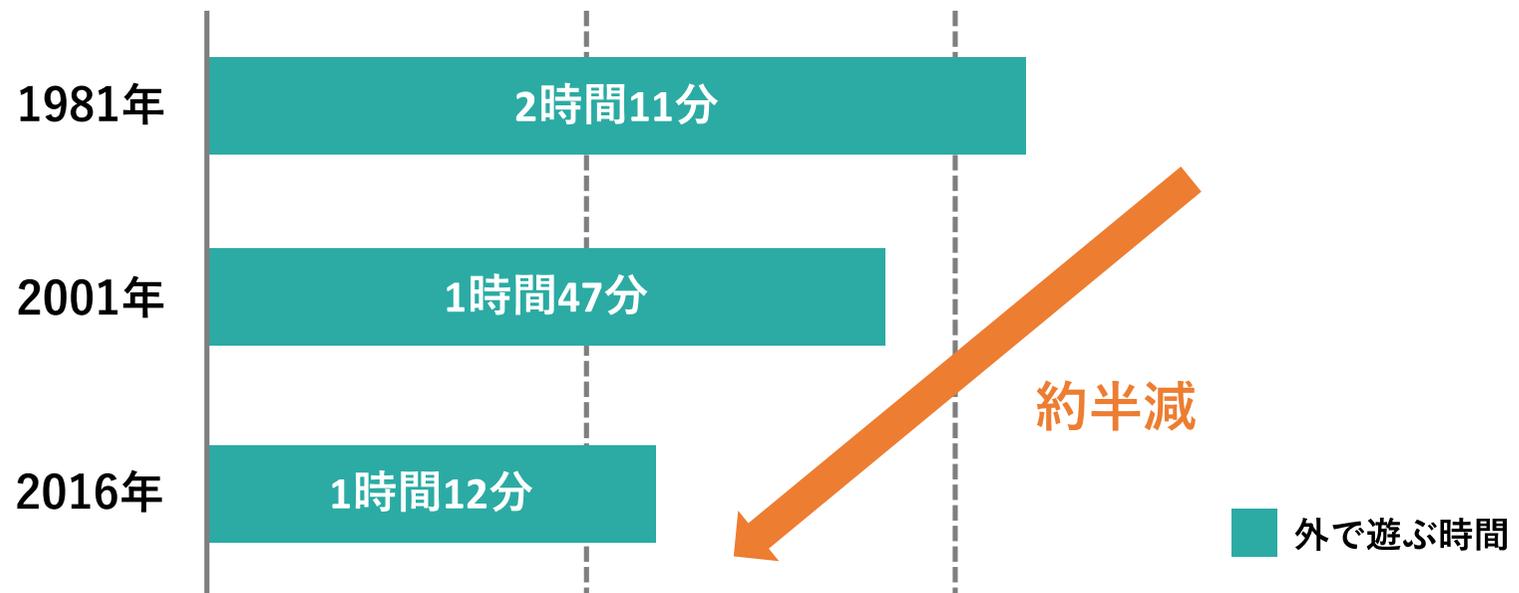
▼子どもの犯罪の発生時間帯



(出典) 警察白書より作成

この30年で外で遊ぶ時間はほぼ半減

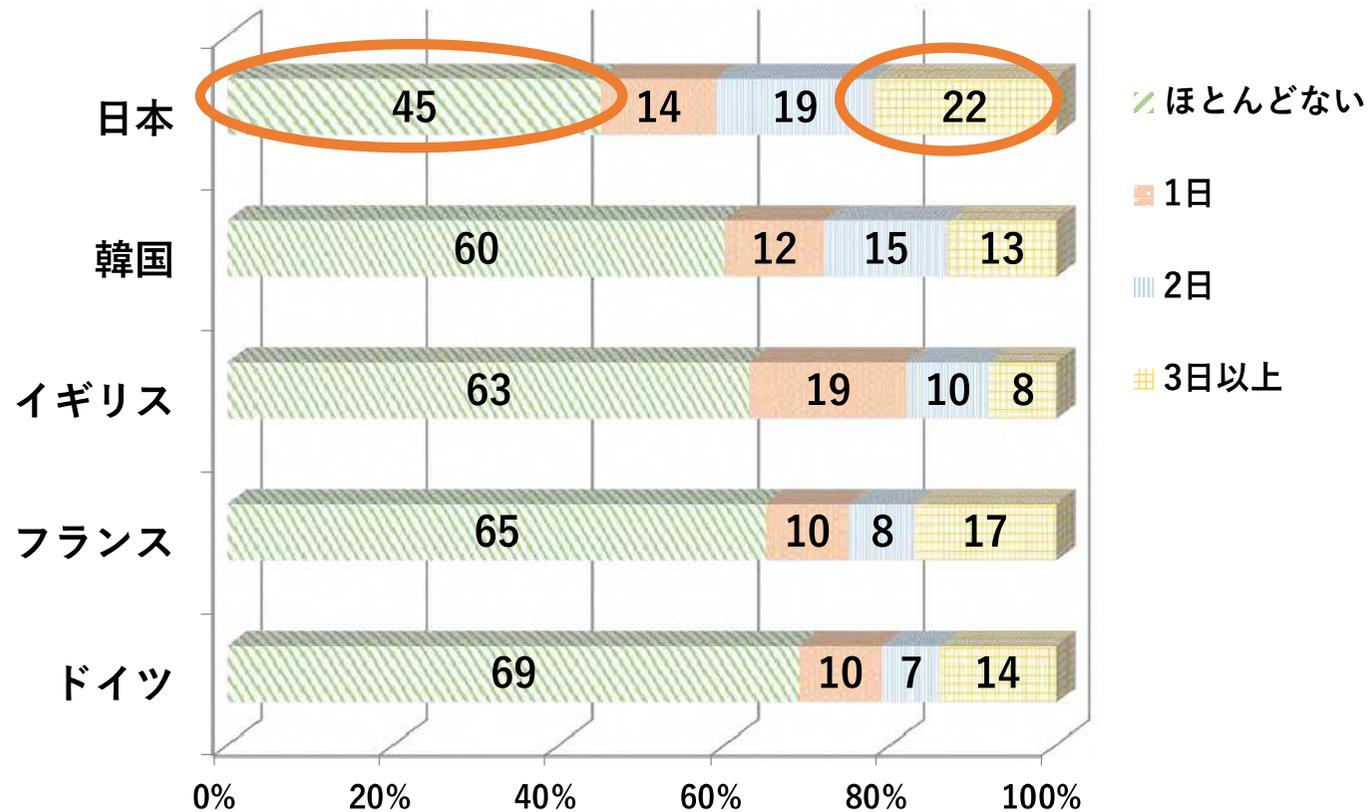
▼外で遊ぶ時間の変化



(出典)シチズンホールディングス「『子供の時間感覚』35年の推移」より作成

一緒に遊ぶ「仲間」が失われている

▼1週間のうち放課後1人で過ごした日数

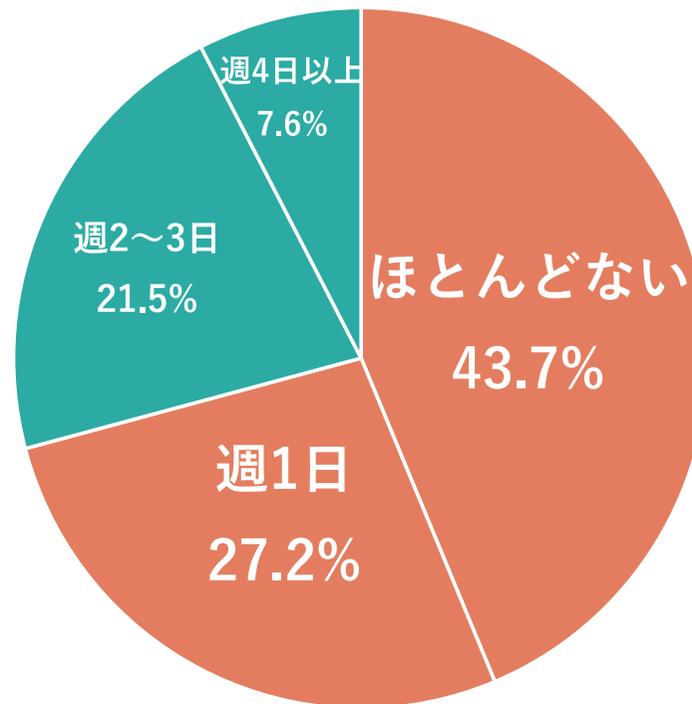


(出典) 児童の放課後活動の国際比較, 2012

■ 友達と一緒に遊びたいのに遊べない

放課後に友達と遊ぶのは「週1回以下」と答えた小学生が70.9%

▼放課後にどれくらい友達と遊んでいますか?(n=302)



(出典) 放課後NPOアフタースクール独自調査「小学生の放課後の過ごし方」

課題①

失われた3つの間

「放課後を象徴する3つの間」

がなくなり

子どもらしい子ども時代を過ごす

居場所を失っている

課題②

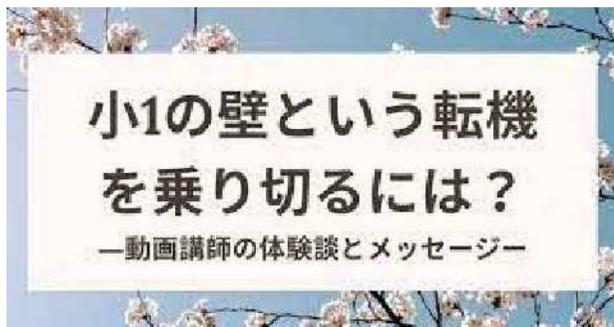
小1の壁

保護者を悩ませる「小1の壁」「小4の壁」

小1の壁とは

子どもが小学校入学後、仕事と家庭の両立が困難になる社会問題。
小学生の子どもを預かる学童保育の不足など、**放課後の過ごし方が主な要因。**

参考：小4の壁とは
学童保育が小3までで4年生以降の居場所を失う社会問題。都心では多くが学習塾に吸収。**最近「小3の壁」に低下。**

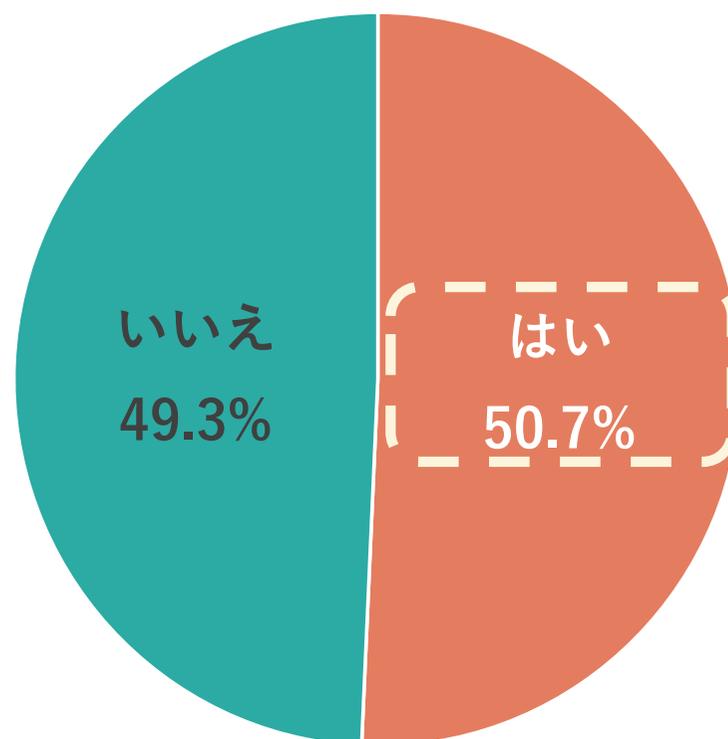


「小1の壁」調査結果

子どもの小学校入学にあたって過半数が「働き方の見直しを検討」(50.7%)

Q.子どもの小学校入学にあたって、働き方の見直しを検討しましたか？

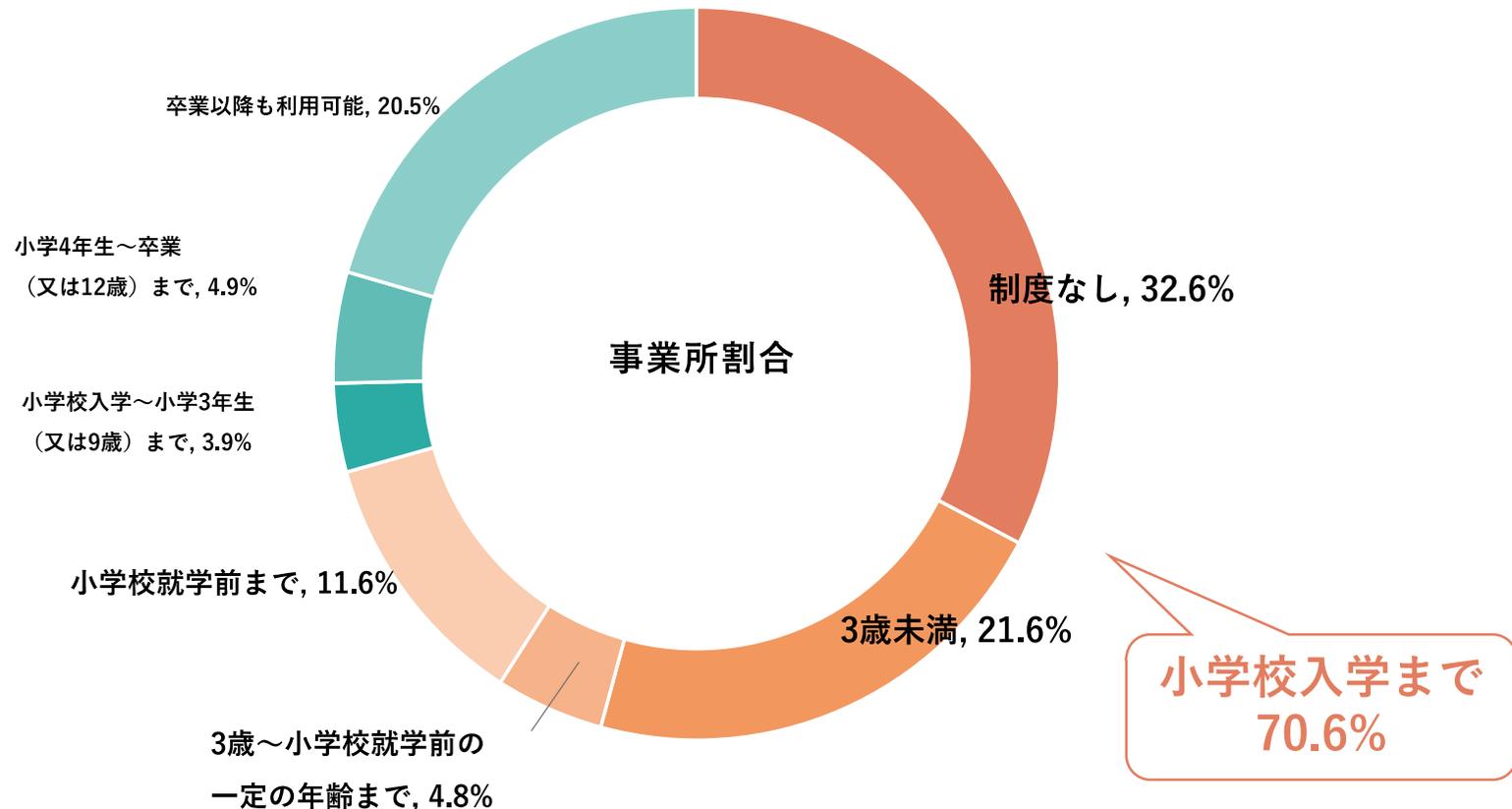
(n=1000)



(出典) 放課後NPOアフタースクール「小1の壁」に関するWEB調査アンケート 2023年3月23日

子どもが小学校に入ると7割の企業ではフルタイム勤務を迫られる

▼育児のための所定労働時間短縮措置の利用可能期間



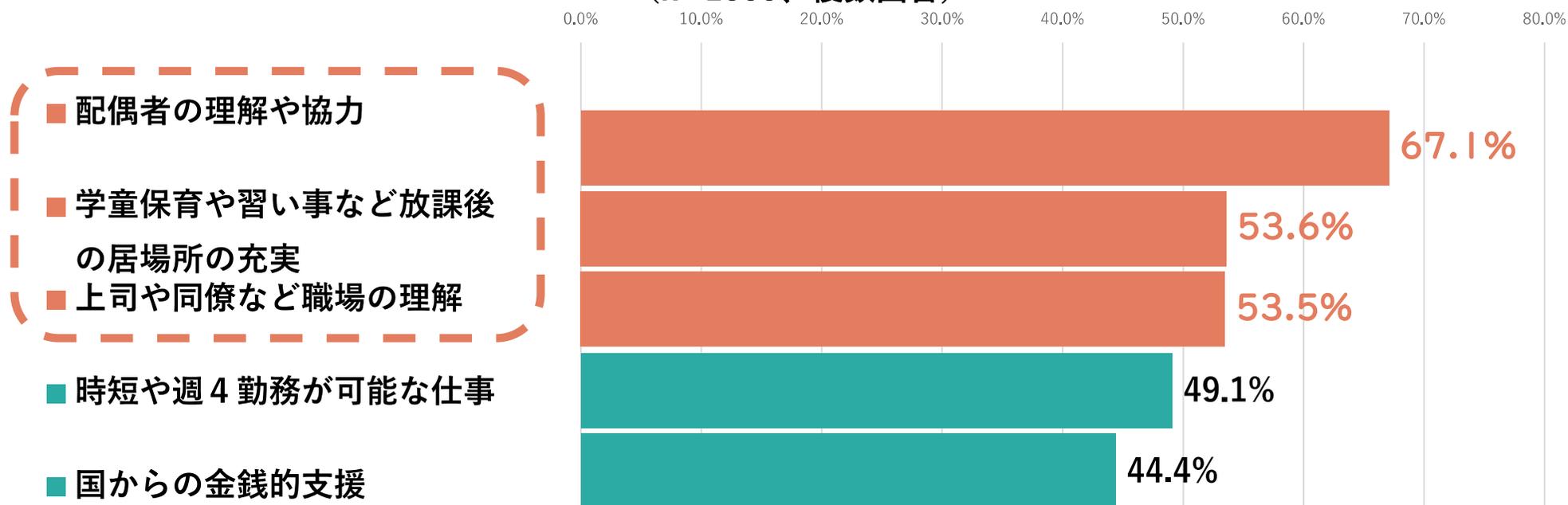
(出典) 厚生労働省「令和5年度 雇用均等基本調査」より作成

「小1の壁」調査結果

子育てと仕事の両立のための三要素は「配偶者の理解（67.1%）」、「放課後の子どもの居場所（53.6%）」、「職場の理解（53.5%）」

子育てと仕事の両立のために必要だと思うことを教えてください。

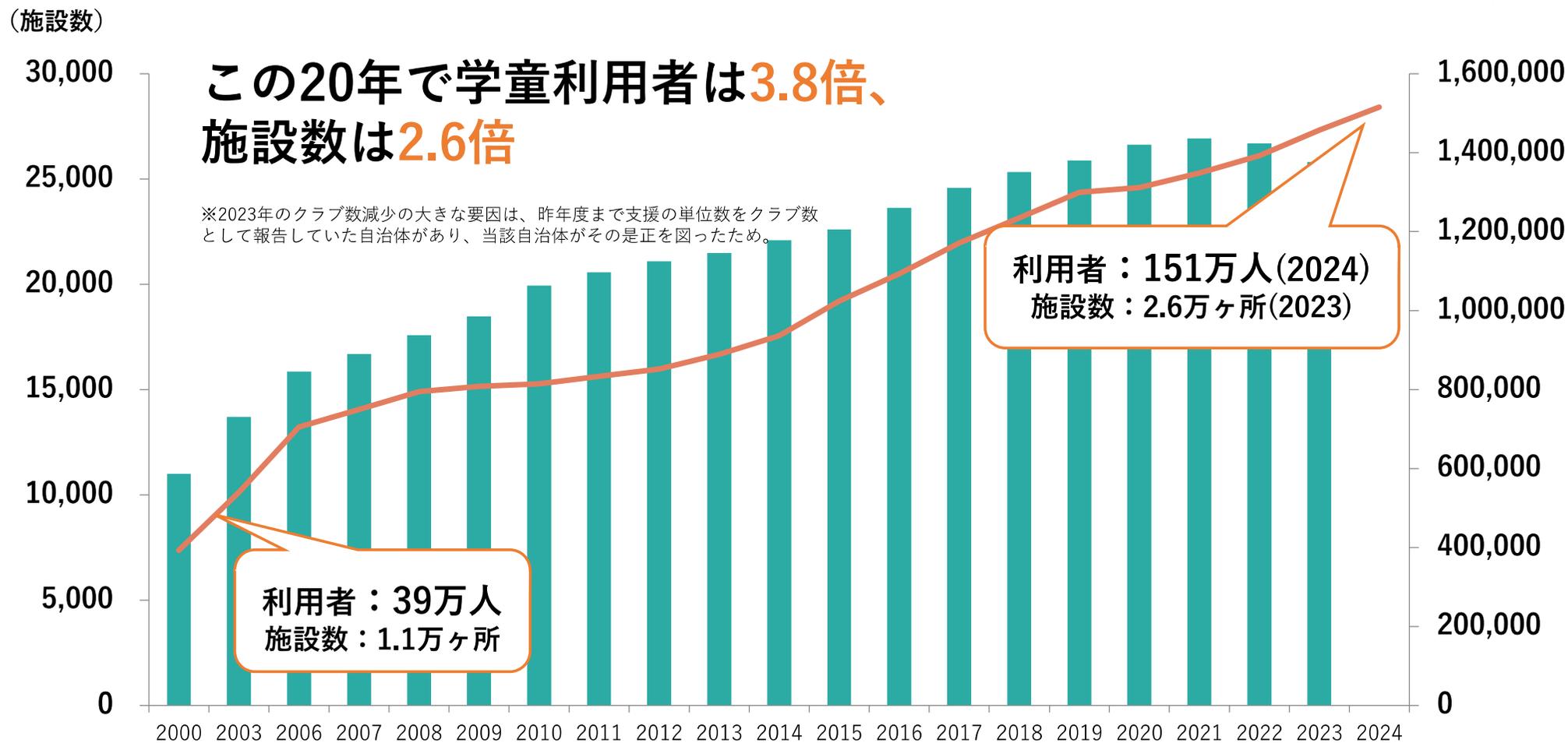
(n=1000、複数回答)



(出典) 放課後NPOアフタースクール「小1の壁」に関するWEB調査アンケート 2023年3月23日

家庭の学童ニーズは高まり利用者数は急増

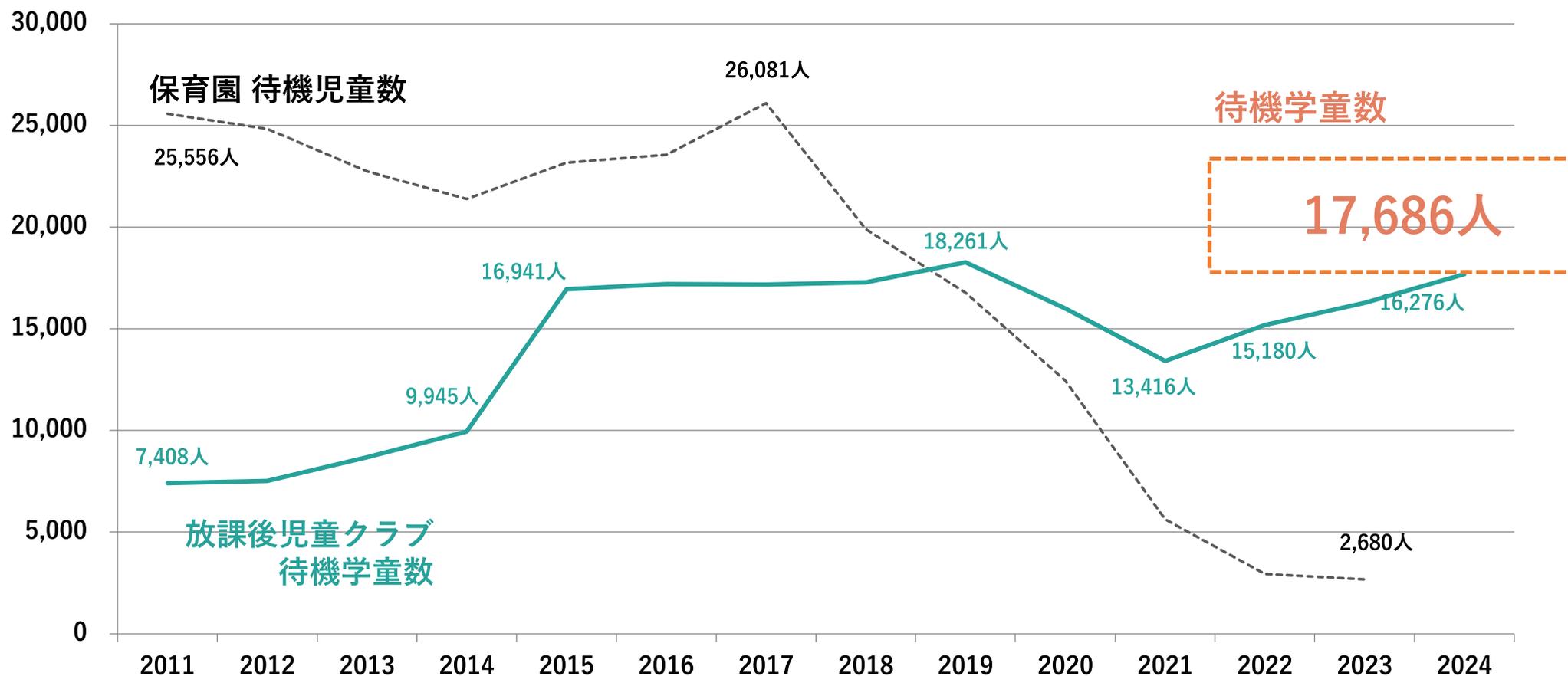
▼学童保育の利用児童数・施設数



(出典) 「令和6年 放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ) の実施状況(速報値)」 (2024年5月1日現在、7月19日発表)

社会課題 | 放課後児童クラブの量的不足

学童の受け皿拡充するも(利用者数151万人)、待機児童数は約1.8万人で増加傾向 ※2024年12月時点



(出典) 「令和5年放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の実施状況」(2023年5月1日現在、12月25日発表)、「保育所等関連状況取りまとめ(令和5年4月1日)」

学童が「子どもが行きたい」居場所になっていないケースも多数

「まるで鳥小屋」学童保育 定員超えの詰め込みが横行 こんな事態はなぜ起きる？<ニュースあなた発>

2023年3月4日 06時00分

子どもの小学校入学を控えた今、働く親たちを悩ませているのが放課後の預け先だ。多くが利用する放課後児童クラブ（学童保育）では、定員を超えて子どもを受け入れる「詰め込み学童」が横行している。本紙「ニュースあなた発」にも、「子どもたちが劣悪な環境にさらされている」との訴えが寄せられた。待機児童対策の裏で起きている子育ての現実を見つめた。（須藤恵里）

◆待機児童はゼロ…でも施設は飽和状態



「雨で校庭が使えなくなると1教室に120人が詰め込まれる」「子どもに熱が出ても寝かせられる場所がない」。本紙に情報を寄せた掃部関和美さん（64）は、支援員として働く千葉県松戸市の学童保育の実態を打ち明けた。

松戸市では現在、約4600人の子どもが学童を利用し、待機児童はゼロ。年々増える希望者を全て受け入れ、多くの施設が飽和状態だ。市子育て支援課の担当者は「学校に協力を仰いだり、民間の空き物件を探したりしているが、対応が追いつかない」とこぼす。

学童保育も、保育園のように国が運営基準を定めている。定員は1クラス「おおむね40人以下」。ただ、参考扱いで義務ではない。市の担当者は「基準はクリアすべきだが、働く親たちのために受け入れたい。かといって、すぐに施設を増やせるわけでもなく…」とジレンマを抱える。

千葉県松戸市での学童保育。雨で校庭が使えなくなると、教室には、この倍の人数になるという＝保護者提供、画像一部加工

学童を1年生のうちに退所した 7.5%
最多理由「子どもが行きたがらなくなった(35.7%)」

放課後NPOアフタースクール「[放課後児童クラブ利用に関する調査レポート](#)」（2024年）

学童は楽しくない。先生にダメって言われる。あばれたらダメ、しゃべったらダメ、外にも行けない。先生がやさしい人になってほしい。（兵庫県3年生）

学童がもうちょっと広がったらいと思う。人数が多いとぎゅうぎゅうでうるさい。（大阪府1年生）

学童に通っていない友達とも遊びたい（神奈川県4年生）

（出典）東京新聞WEB版2023年3月4日付 （出典）放課後NPOアフタースクール「小学生の放課後の過ごし方に関する調査レポート」（2023年）

課題② 小1の壁

専業主婦を前提とした
「小学校に入ったらもう安心ね」
の時代から
アップデートされていない

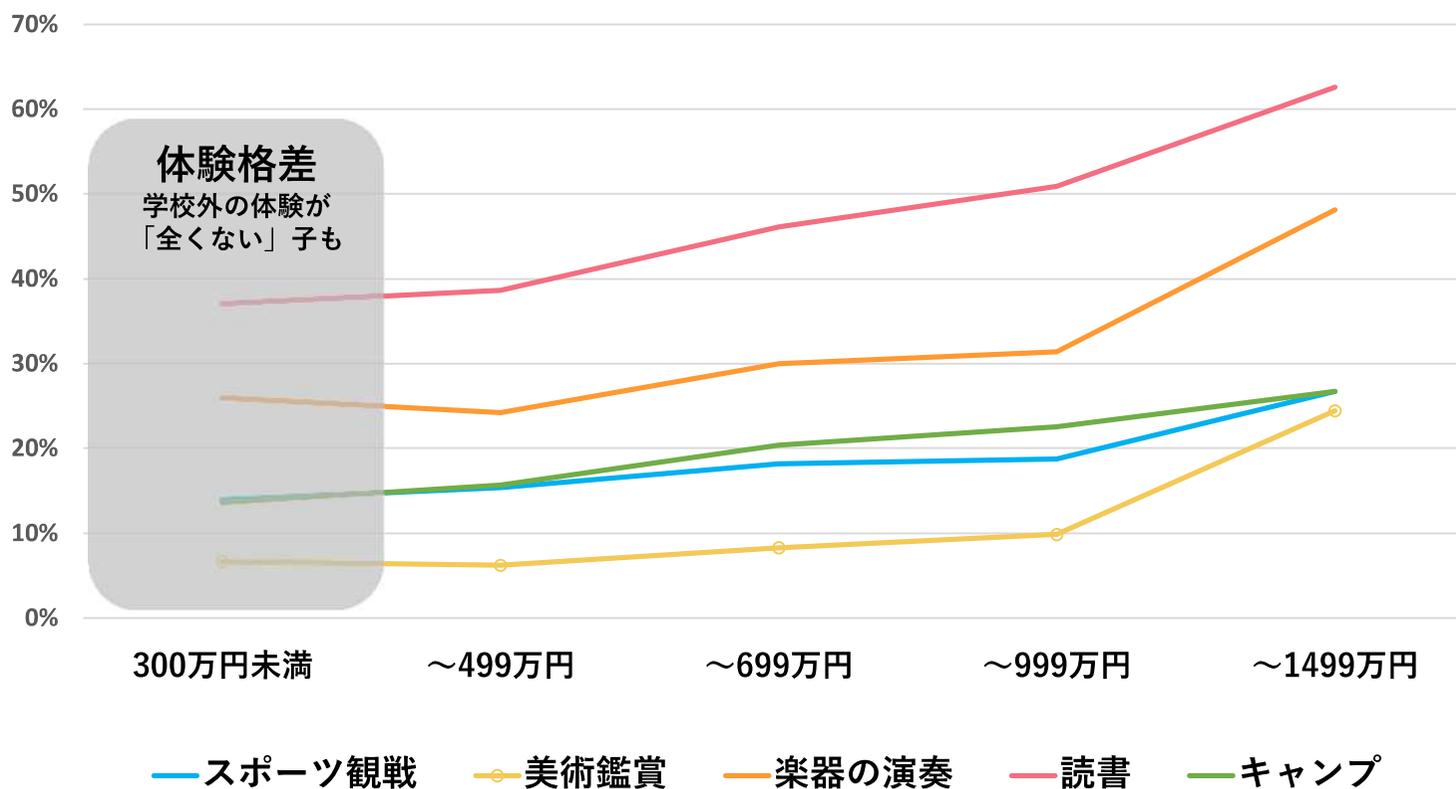
課題③

体験格差

経済格差が体験格差に

世帯年収により子どもの体験格差が存在、都市部が大きいが全国的な傾向

▼小学生の子どもがいる世帯の年収別 趣味娯楽行動率

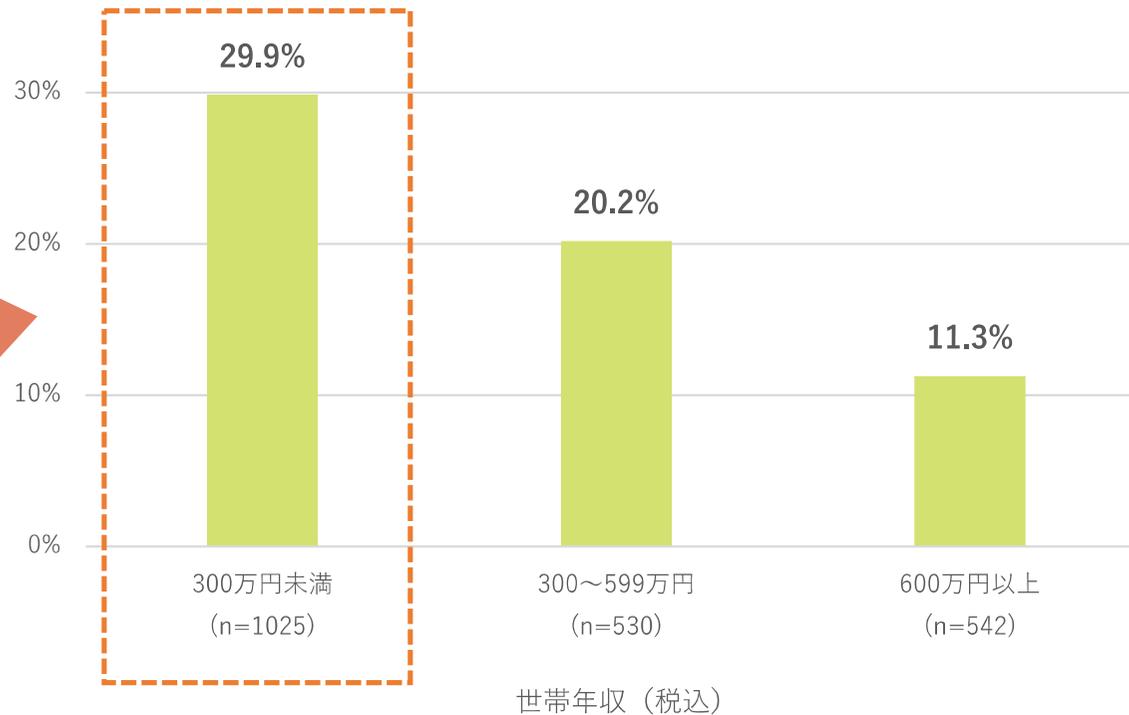


(出典) 厚生労働省「令和3年生活基本調査」を基に放課後NPOアフタースクールで作成

低所得家庭※の子どもの3人に1人が「学校外の体験がない」

※世帯年収300万円未満

学校外の体験がない子どもの割合（直近1年間）



格差は
放課後・
休日に
顕在化する

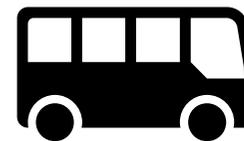
(出典) 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン「子どもの『体験格差』実態調査」(2023年)

■ 都心を中心に高額な民間学童保育ビジネスが発展

週5回の利用料金（一人）



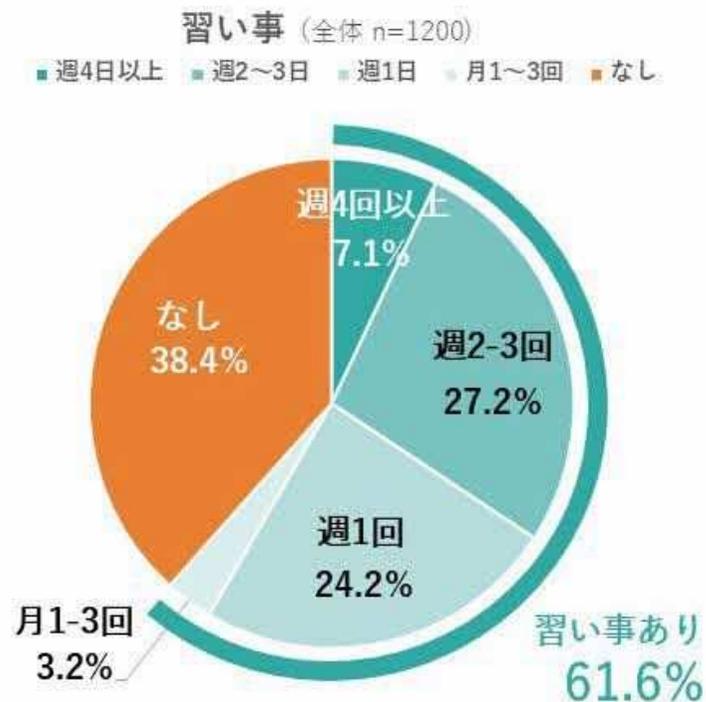
最大延長
21時もしくは22時



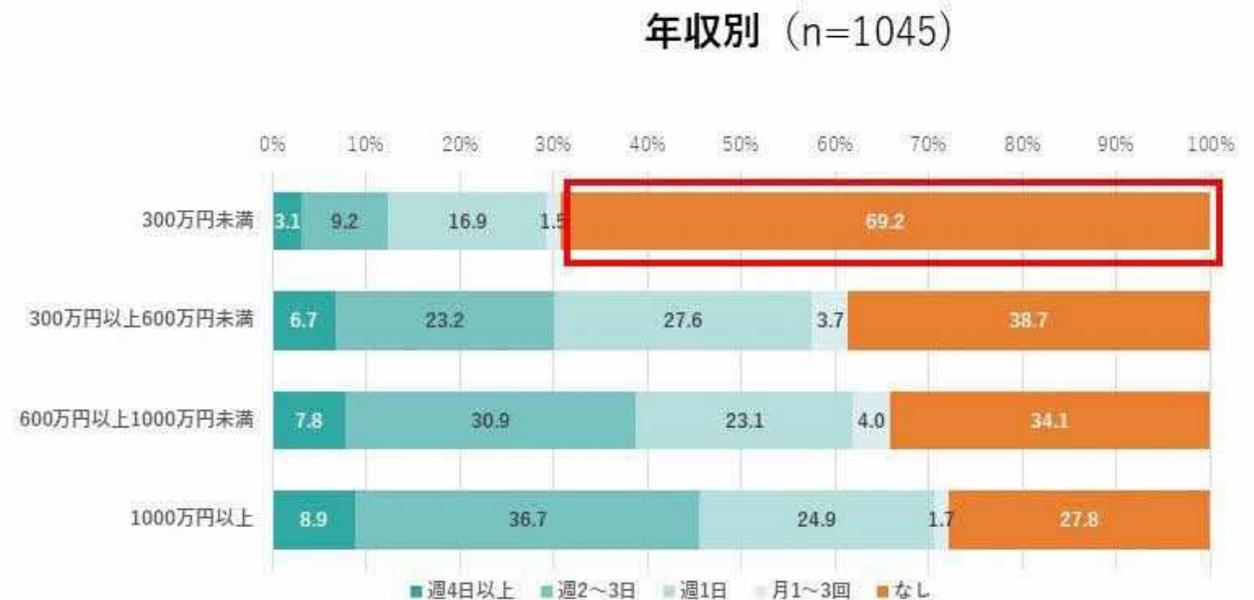
送迎サービス
学校→学童
学童→自宅や最寄り駅、習い事

■ 経済格差が体験格差に（習い事の頻度の差）

習い事をしている割合は全体で61.6%。年収300万円未満では「なし(69.2%)」が著しく多い。



※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

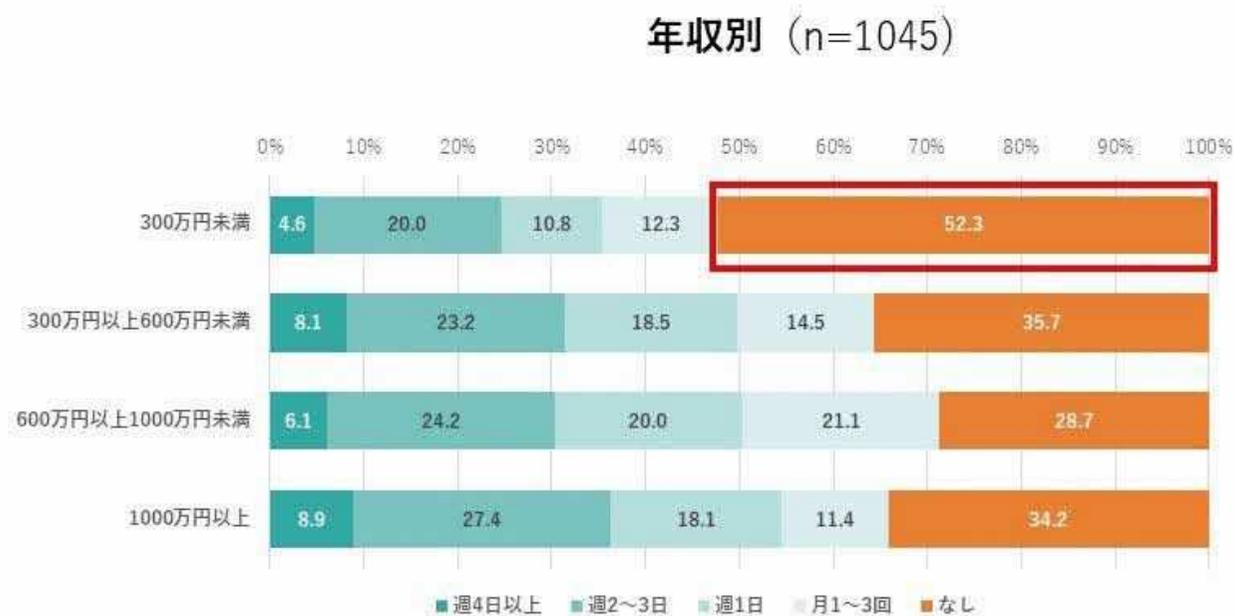


「わからない」を除く回答数：1045

(出典) 放課後NPOアンケート：n=1,200

経済格差が体験格差に（友達と遊ぶ頻度も低い）

友達と遊ぶ頻度は、全体で週1回未満が52.1%。年収別に見ると300万円未満で「なし(52.3%)」が著しく多い。



「わからない」を除く回答数：1045

※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

(出典) 放課後NPOアンケート：n=1,200

課題③ 体験格差

3大ボトルネック

費用

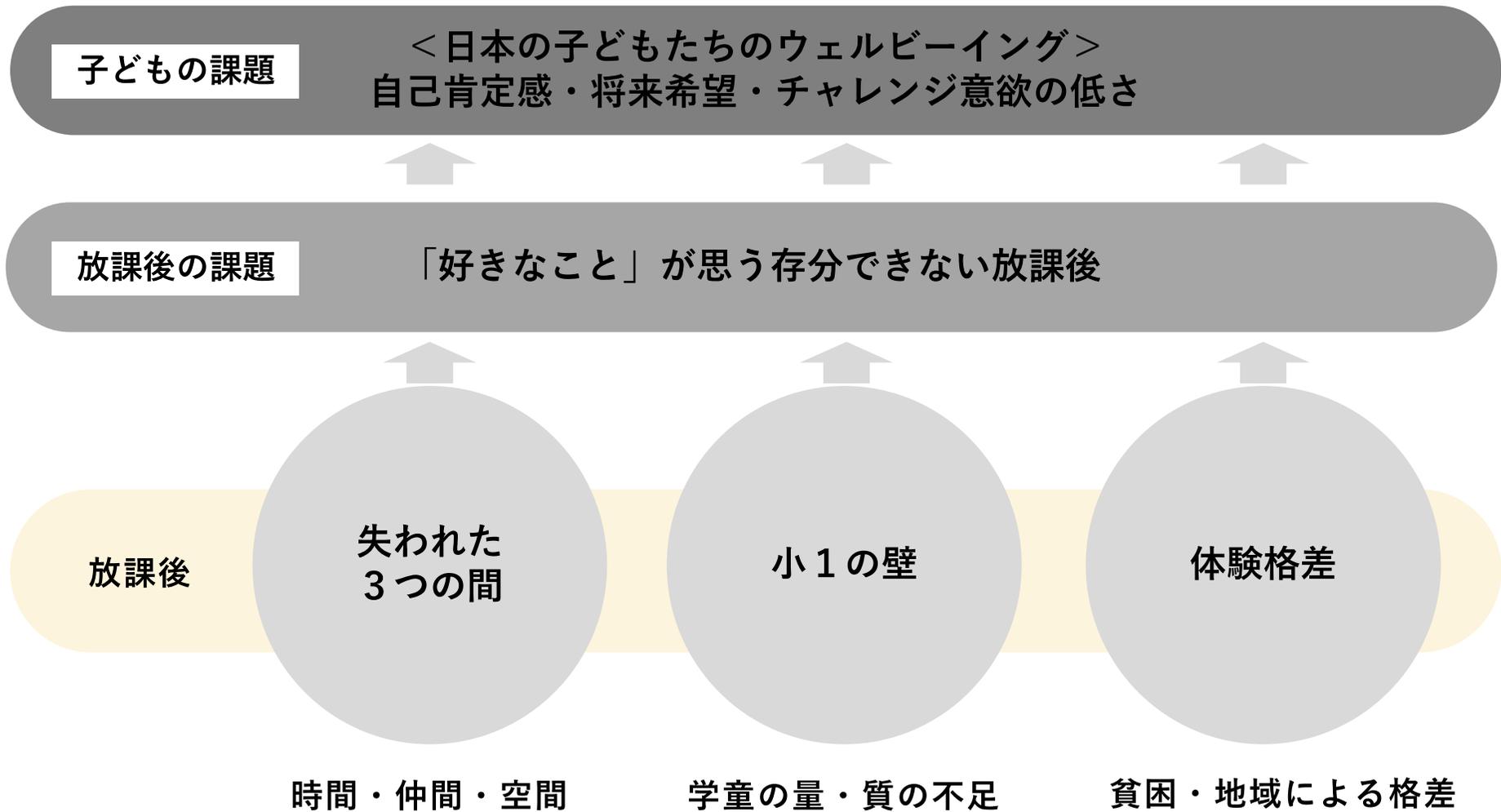
情報

送迎

習い事の費用もさることながら、
探したり、送っていったりする負担が想像以上に大きい

課題③ 体験格差

すべての子どもたちに
豊かな体験を届けるためには
子ども自身が参加できる
放課後の学校活用が解決策



放課後の価値

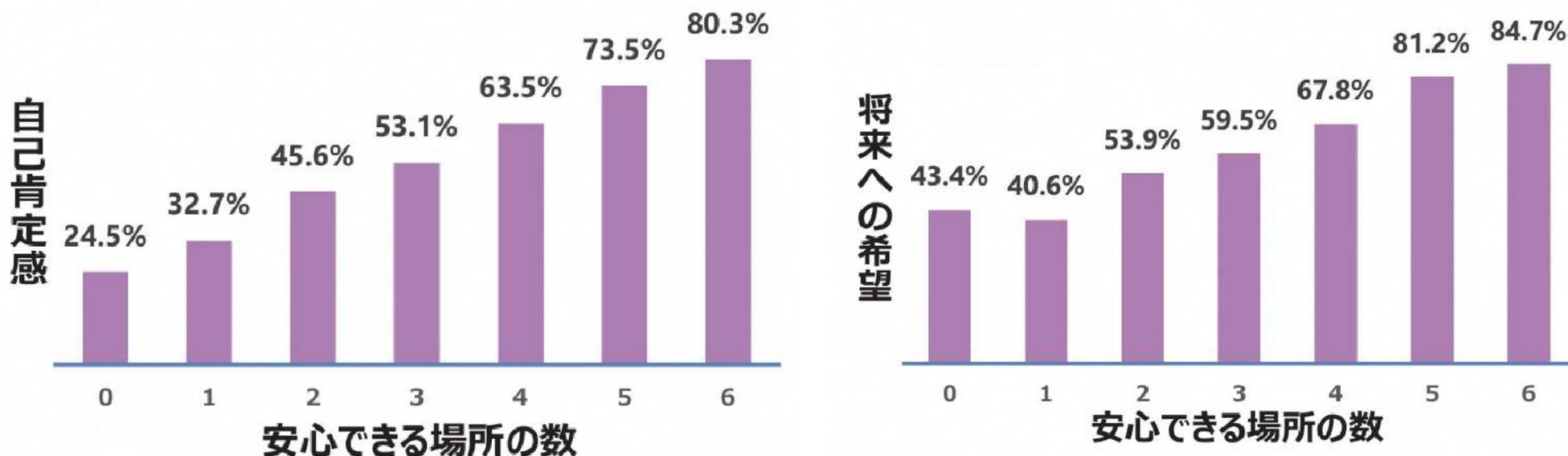




放課後の価値

居場所

居場所の数と 自己肯定感・将来への希望の関係



(出典) 内閣府『令和3年版子供・若者白書(概要版)』をもとに作成
*2019年度のデータ/小数点以下は四捨五入/15~29歳対象 (n=6000)

放課後の時間（小学校低学年）

学校にいる時間（年）

1,200
時間

放課後や長期休み（年）

1,600
時間

（出典）全国学童保育連絡協議会

小学生は成長のゴールデンエイジ

Interview

No. 13

Update : 2021.4.23

私

×

放課後

「幸せとは好きな人と
好きなことをやること」

僕にとって放課後は、とても自由な時間でした。
友だちと遊ぶのが楽しくて、
いろんな遊びをしました。
放課後は勉強を頑張ったご褒美で、
「よし!ここから情熱が解放できる!」
と思うわけです。
好きな人と好きなことをやるのが、
究極の幸せだと思います。



Keisuke Honda

挑戦者
本田圭佑

(参照：日本サッカー協会)

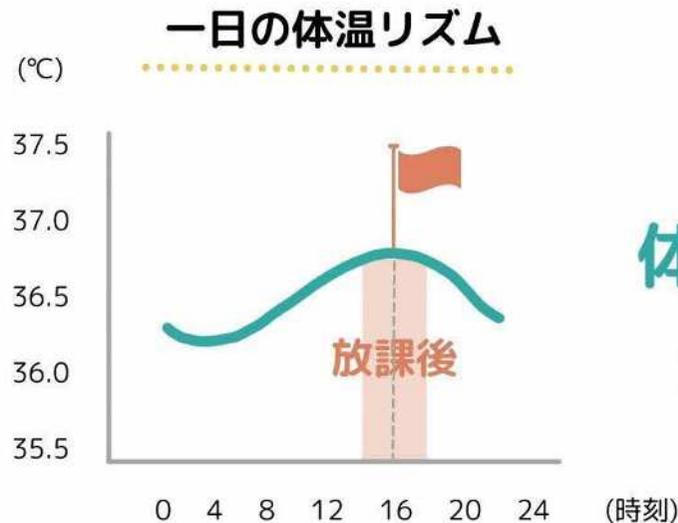
10-12歳は「ゴールデンエイジ」と呼ばれ、心身の発達が調和し、大人でも難しい難易度の高い動作も即座に覚えることができます。ゴールデンエイジを有効に機能させるために9歳までのプレ・ゴールデンエイジの遊びも大変重要です。

■ 午後4時が体温最高のゴールデンタイム



早稲田大学人間科学学術院
前橋先生
(子どもの運動の第一人者)

午後4時が 体温最高のゴールデンタイム！



放課後 の時間帯に
体をたくさん動かして
生活リズム を整えよう



筑波大学医学医療系眼科
平岡先生

増え続ける視力不良の小学生

裸眼視力が1.0未満の小学生の割合



※小数点第二位四捨五入

令和元年度学校保健統計（学校保健統計調査報告書）

1日2時間の屋外活動で近視を防げる



筑波大学医学医療系眼科
平岡先生

屋外活動を1日2時間することで
近視を抑制できる

学校で **1** 時間 + 放課後で **1** 時間
= **2** 時間 屋外活動を！

近視予防のために毎日2時間以上の屋外活動を促す政策を取り入れた台湾では、
視力不良者の割合が低下し続けています。

Value

子ども主体の放課後において大切にしたい価値



- 自由** (Independence) …過ごし方を自分で選んで決めること
- 挑戦** (Challenge) …可能性にチャレンジすること
- 夢中** (Enthusiasm) …好きなだけ没頭すること
- 多様** (Diversity) …多様でありのままで良いこと
- 社会** (Society) …リアルな社会とつながること
- 仲間** (Friends) …多くの仲間と出会うこと

変化の激しい新時代に求められる力は 放課後にも培われる

AIが得意な領域
(認知能力)

学校

①
計画された学びを
しっかりと一斉に行う

②
状況変化よりは
予定通り実行が大切

③
安定したメンバーの
もとに落ち着いて学ぶ

④
正解を出す
大人は35人に1人

人間の強みを
発揮する領域
(非認知能力)

放課後

①
自分の過ごし方を
自分で決める

②
状況は変化が大きく
それに合わせて過ごす

③
多様なメンバー
異学年とも遊ぶ

④
納得解を探す
大人は10~20人に1人

機動力があり
改革しやすい

私たちの活動



私たちの使命/MISSION

日本中の放課後を、ゴールデンタイムに。



私たちの目指す社会/VISION

子どもたちが、いまも未来も幸せに。

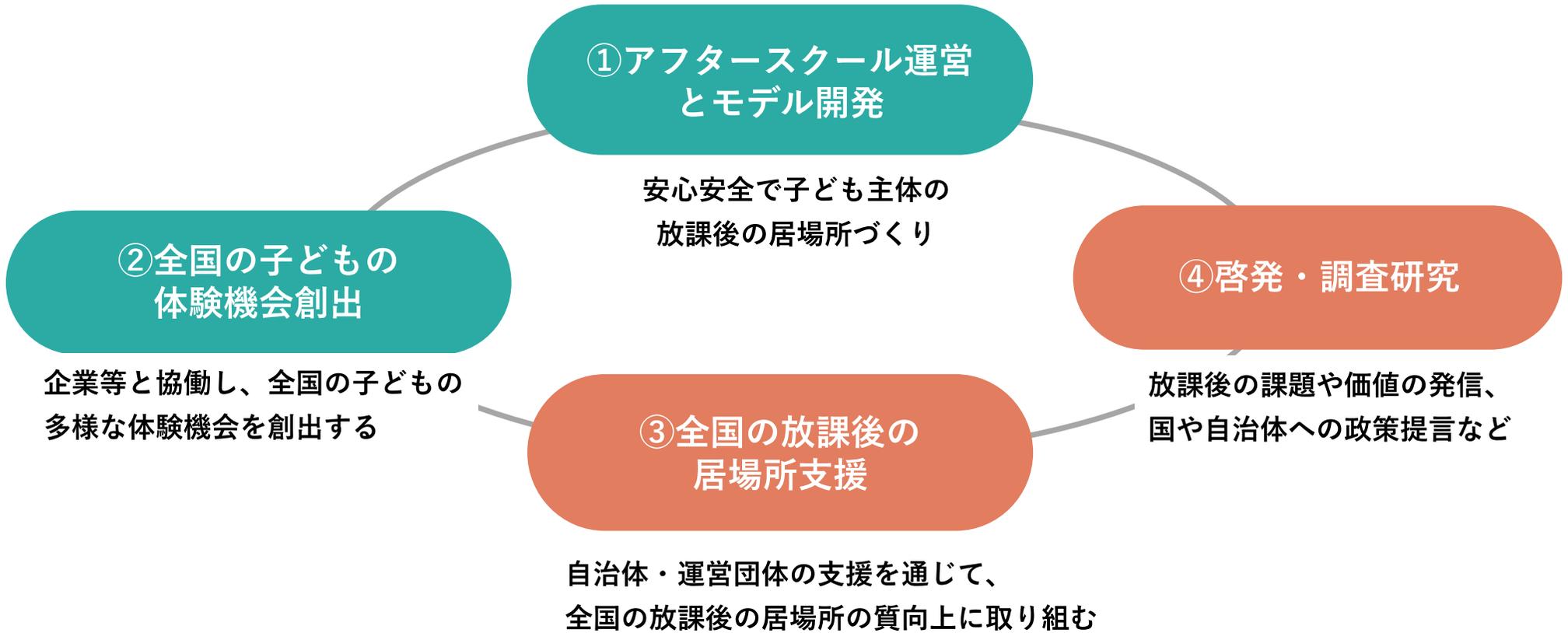
全国の放課後を、誰にとっても安心・安全で、あらゆる可能性を持つ豊かな時間“ゴールデンタイム”にし、多様な大人や体験との出会いを通じて、子どもたちのチャレンジ意欲や自己肯定感が育まれる社会を目指します。

設立：2009年6月

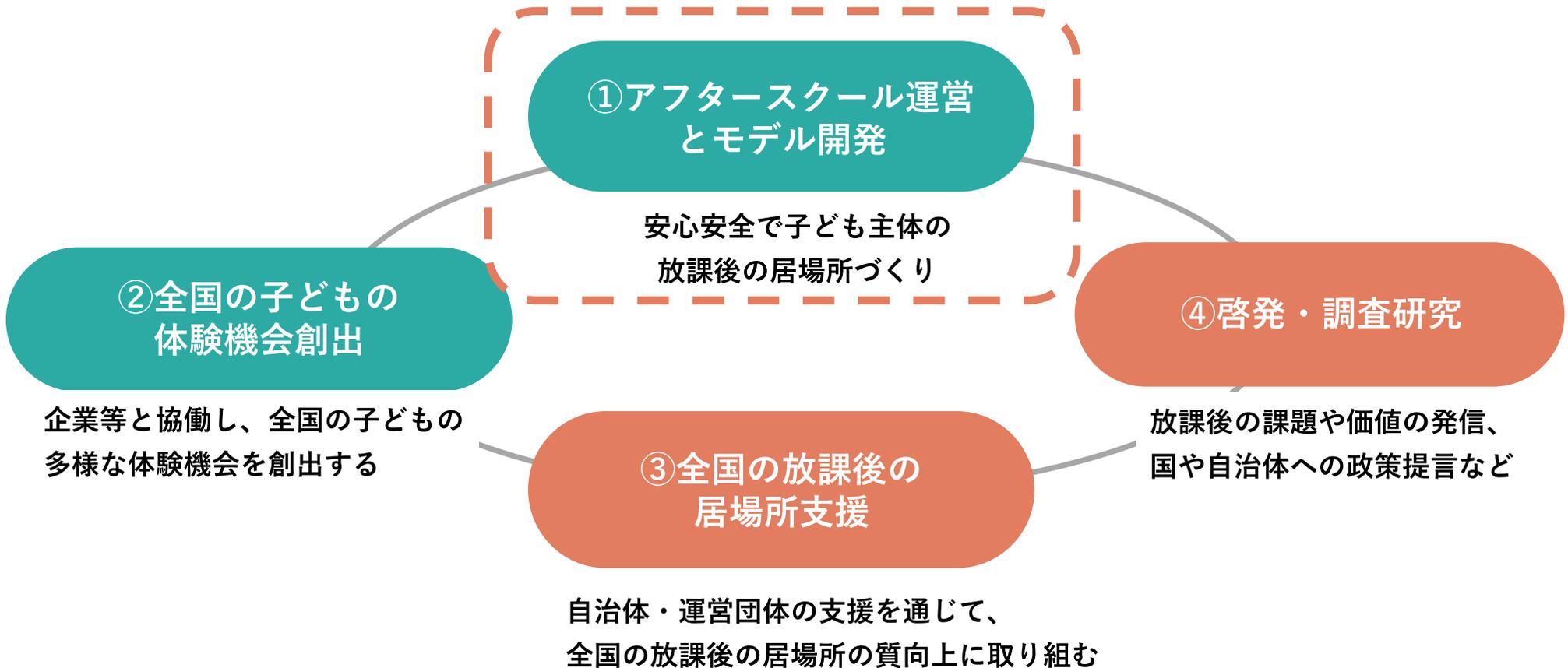
代表：平岩国泰（渋谷区教育長職務代理、新渡戸文化学園理事長）

本部：東京都文京区／職員：360名（常勤スタッフ100名）

受賞：東京都女性活躍推進大賞、グッドデザイン賞（4回）、キッズデザイン賞（5回）



放課後NPOアフタースクールの4つの活動



動画をご覧ください



放課後NPOアフタースクールの活動 | ①アフタースクール運営

アメリカのアフタースクールをモデルに



学校施設を活用、NPOが運営

- ・ ミッションは「子どものドロップアウト防止」
- ・ 学校施設を活用し、市民先生の複数のプログラムが同時進行
- ・ 市が資金投入、社会インフラとして成立

安心安全で子ども主体の放課後の居場所づくり

自分で過ごし方を決める、多様な人・体験と出会う、好きが見つかる放課後を。
子どもの声を起点に、「居たい・行きたい・やってみたい」放課後の居場所づくりを実践し、
「親が働くための学童保育」を超えた「子どもたちにとっての豊かな放課後」を実践します。

アフタースクールのポイント

いつでも誰でも



就労等の事情や特性に関わらず
希望するすべての子を対象に

学校で開催



安全で、多様な活動が
できるスペースを確保

多様な体験



地域の多様な大人との
関わりや豊かな体験

運営実績（2024年度）**15**校

アフタースクールとは



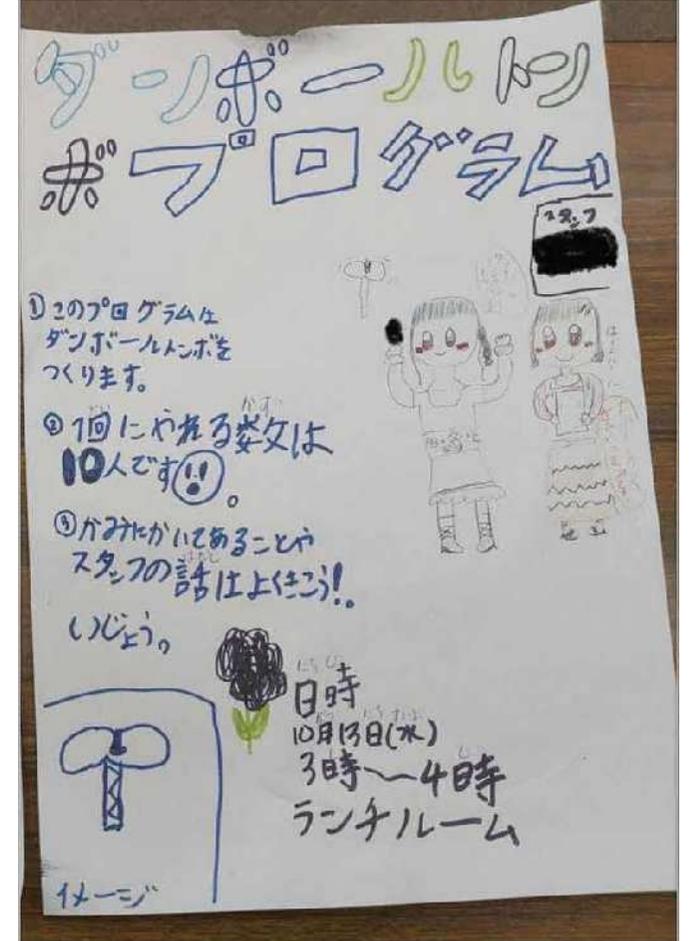
■ アフタースクールとは | 大きな特徴①_1

市民先生がいます



アフタースクールとは | 大きな特徴①_2

子どもが市民先生になることも！



アフタースクールとは | 大きな特徴②_1

毎日多様なプログラムが開催

衣 program 01



食 program 02



住 program 03



アフタースクールとは | 大きな特徴②_2

毎日多様なプログラムが開催



program 04



program 05



program 06



アフタースクールとは | 大きな特徴②_3

毎日多様なプログラムが開催

学 program 07



遊 program 08



表 program 09



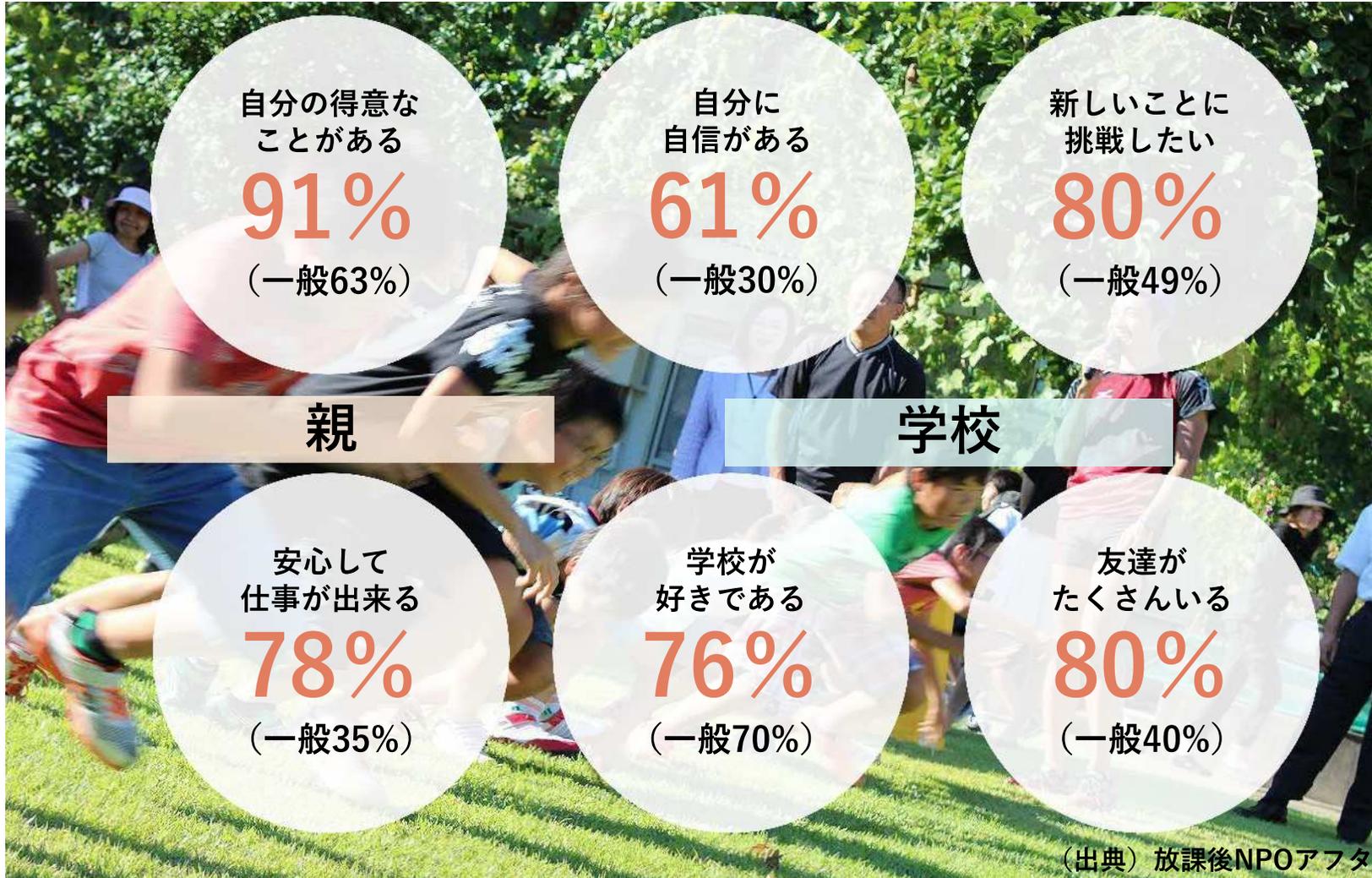
「みんな絶対にいいところがある」 アフタースクールと一緒に探そう！



Photo by Natsuki Yasuda / studio AFTERMODE

アフタースクールの効果 | 子どもたちの心の変化

赤字がアフタースクールの子ども・保護者



(出典) 放課後NPOアフタースクール調べ

アフタースクールの効果 | 市民先生たちも幸せに

(南あわじ市)



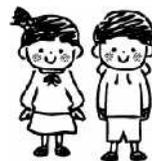
私は、公民館で『子ども将棋道場』を月1回やっています。アフタースクールの将棋に熱心な子どもこちらに3人ほど参加してくれています。『アフタースクールでは時間の制限があるから、強くなりたい、もうちょっと将棋をしたい』という子たちです。自分の生きがいです。

アフタースクールで、回数を重ねるごとに、将棋をしたいという気持ちが伝わってきて、今は盤の前に張り付く感じで、楽しそうにやっていますね。興味持ってもらえたのかなと思って嬉しくなります。

子どもたちのおかげで寿命が延びました。

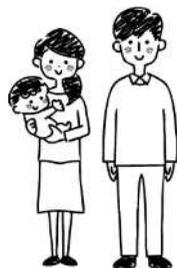


アフタースクールの効果 | 地域の「四方よし」をつくり出す



子どもへの効果

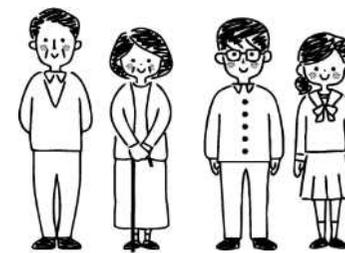
安全安心な居場所×多様な体験
ウェルビーイングの向上
体験格差の解消



保護者への効果

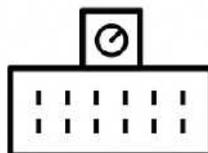
アフタースクールの特徴

- ・就労要件がなく、**全児童**が対象
- ・**学校施設**をフル活用（学校と放課後で責任分担）
- ・**多様な体験**の選択肢から子ども自身が決めて活動
- ・**地域人材**や企業が多数参画



地域への効果

シニア・若者の活躍
地域で子どもを育てる
（コミュニティ活性化）



学校への効果

先生のサポート
地域との接点

①アフタースクール運営 とモデル開発

安心安全で子ども主体の
放課後の居場所づくり

②全国の子どもの 体験機会創出

企業等と協働し、全国の子どもの
多様な体験機会を創出する

④啓発・調査研究

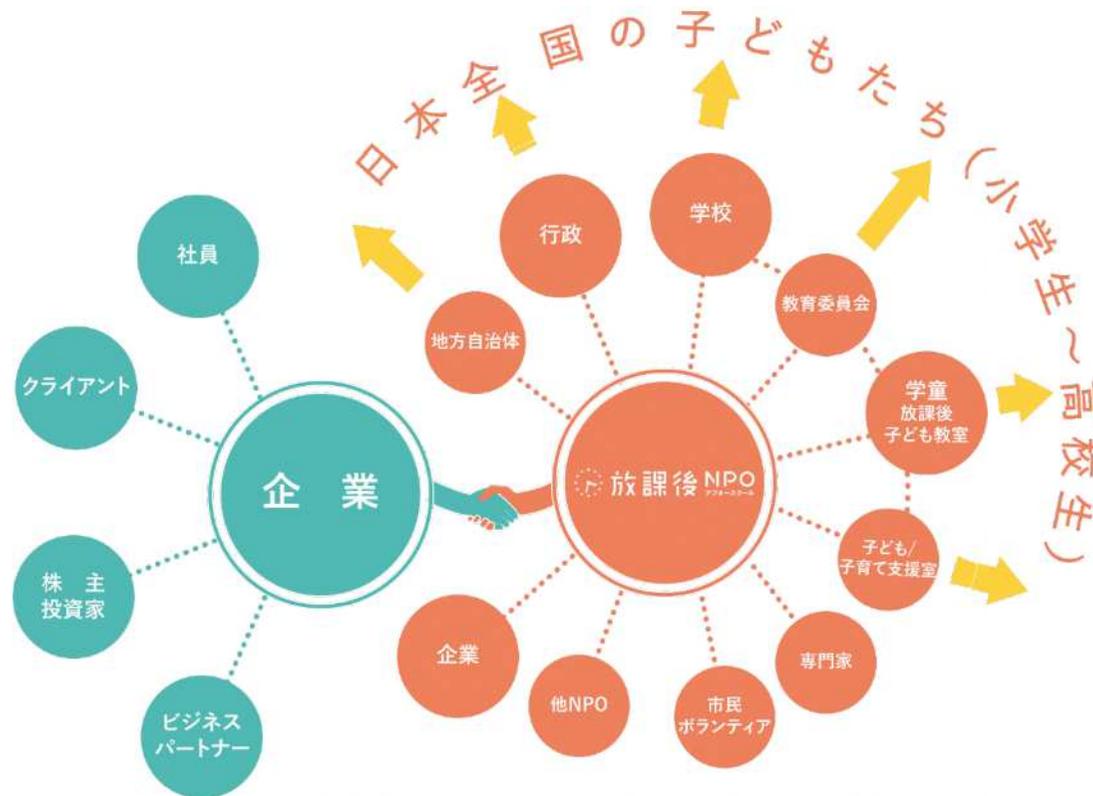
放課後の課題や価値の発信、
国や自治体への政策提言など

③全国の放課後の 居場所支援

自治体・運営団体の支援を通じて、
全国の放課後の居場所の質向上に取り組む

企業の資源 × 私たちの活動ノウハウ

全国の子どもたちに生きた教育が行き渡る



企業と協働し、全国の子どもの多様な体験機会を創出する

企業と私たちの強みを活かし、子どもたちに“真の本物”の体験や多様な大人と出会う機会を全国で創出します。
家庭環境や居住地に関係なく、すべての子どもたちが豊かな体験を通じて生き抜く力を育める社会を目指します。



その他の協働企業の一例



2023年度実績(年間)

全国 20 社

実施拠点数 436 か所

参加児童 約 9,200 人

CASE 1 : 住友生命保険相互会社様



日本全国の放課後を応援するため年間50カ所、全国の放課後へ
“いのち”“健康”“未来”のテーマで16種類のスペシャルプログラムと
放課後スタッフ向けの勉強会をお届け！



おいしい!
野菜チャレンジ

楽しい体験で野菜と親しんでもらうことを目的に放課後と学校授業の両方をサポートする体験型食育プログラム！



CASE 3 : 滋賀県 × 地域企業 × NPO

地域企業と子どもたちの居場所を
つなげるプラットフォーム

ことなBASE
子ども × 大人でつくる、滋賀の未来。

品川区版が
つくれる！！

企業・団体が解決したい社会課題について、「ことなBASE」事務局のサポートを得ながら子ども向けの体験プログラムをつくり、放課後の居場所へ届ける仕組み。

近江八幡市
地産地消 × 学校給食



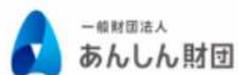
トヨタモビリティパーツ(株)滋賀支社
水素エネルギー



(株)ポーラ膳所支店
ハンドケア体験



パートナー企業の皆様（一部ご紹介）



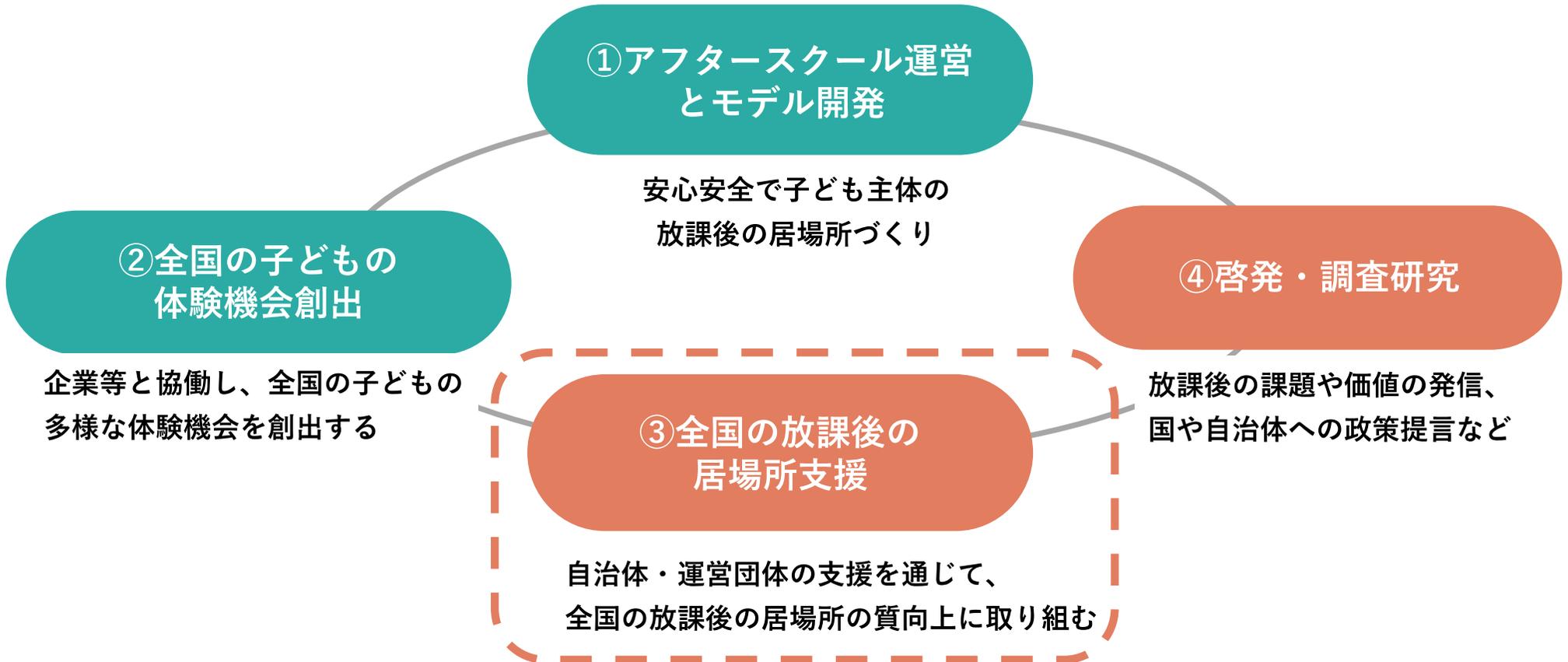
武田薬品工業株式会社



三井住友フィナンシャルグループ



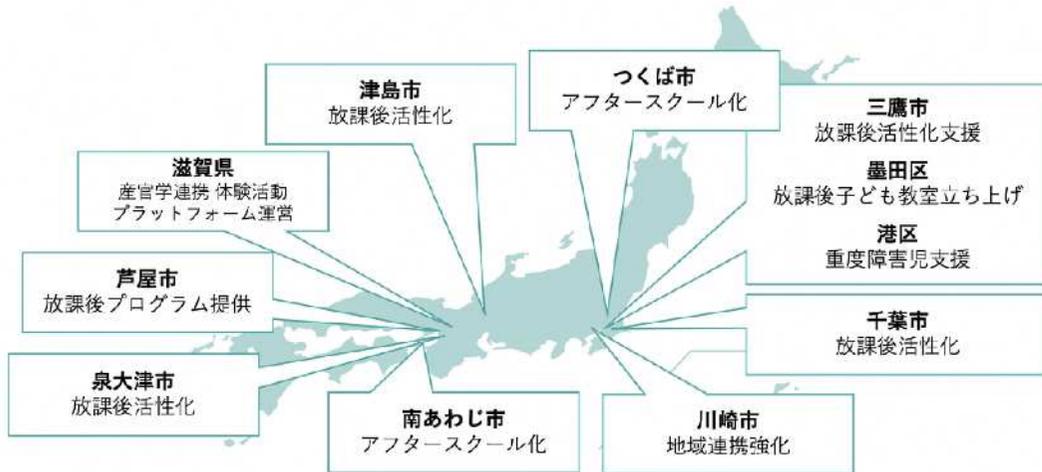
& MORE!!



自治体・運営団体の支援を通じて全国の放課後の質向上に取り組む

自治体による放課後の居場所づくりを支援

自治体の放課後事業拡充を伴走支援、社会的インパクトを拡大します。計画立案、環境整備、人材育成、地域連携、活動充実etc



放課後の人材育成・研修

研修機会が少ない運営従事者に向け、実践に役立つ研修や好事例共有の場を提供し、業界全体のマインド・スキル向上につなげます。



2024年度実績(年間)

支援自治体 **11** 自治体

研修参加者 約 **2,000** 人(ユニーク数)

CASE 1 : 千葉市_自治体と協働し、放課後をより豊かに

2023年度～
放課後子ども
教室の直
営も受託

直接運営



アフタースクールモデル校を直営
(2017年～)

×

放課後活動充実支援



市内の放課後を幅広く支援
(2016年～)

千葉市は市内**ほぼ全校**に**アフタースクール導入決定**、待機学童を大幅に減少
(待機児童の概念自体がなくなる)

CASE 1 : 千葉市_稲浜アフタースクールの2つの特徴

特徴① 学校で習い事

高学年の
参加率が
高い

特徴② スペシャルプログラム



放課後総合コーディネーターが地域資源を開拓

放課後総合コーディネーターが講師を選定

費用は市価より安く設定
(場所代・広告費が不要なので)

保護者からの収入で
習い事運営の費用が概ね賄えている

プログラム名	参加費 (月)	(参考) 市価
ダンス (月2回)	3,300円	4,180円 (月2回)
ジャグリング (月2回)	3,300円	8,140円
英語 (月2回)	3,300円	5,500円 (月2回)
書道 (月2回)	3,300円	7,700円
プログラミング (月2回)	3,080円	8,800円
体育体操 (月4回)	6,000円	8,800円

学校内習い事の満足度: **97%**
(夢みたい!とされます)

CASE 2 : 南あわじ市_自治体と協働し、放課後をより豊かに

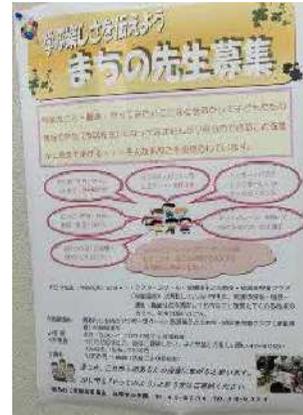
新規立ち上げ支援

×

人材育成研修



学童保育→アフタースクール化
(2019年～順次)



市民先生の公募

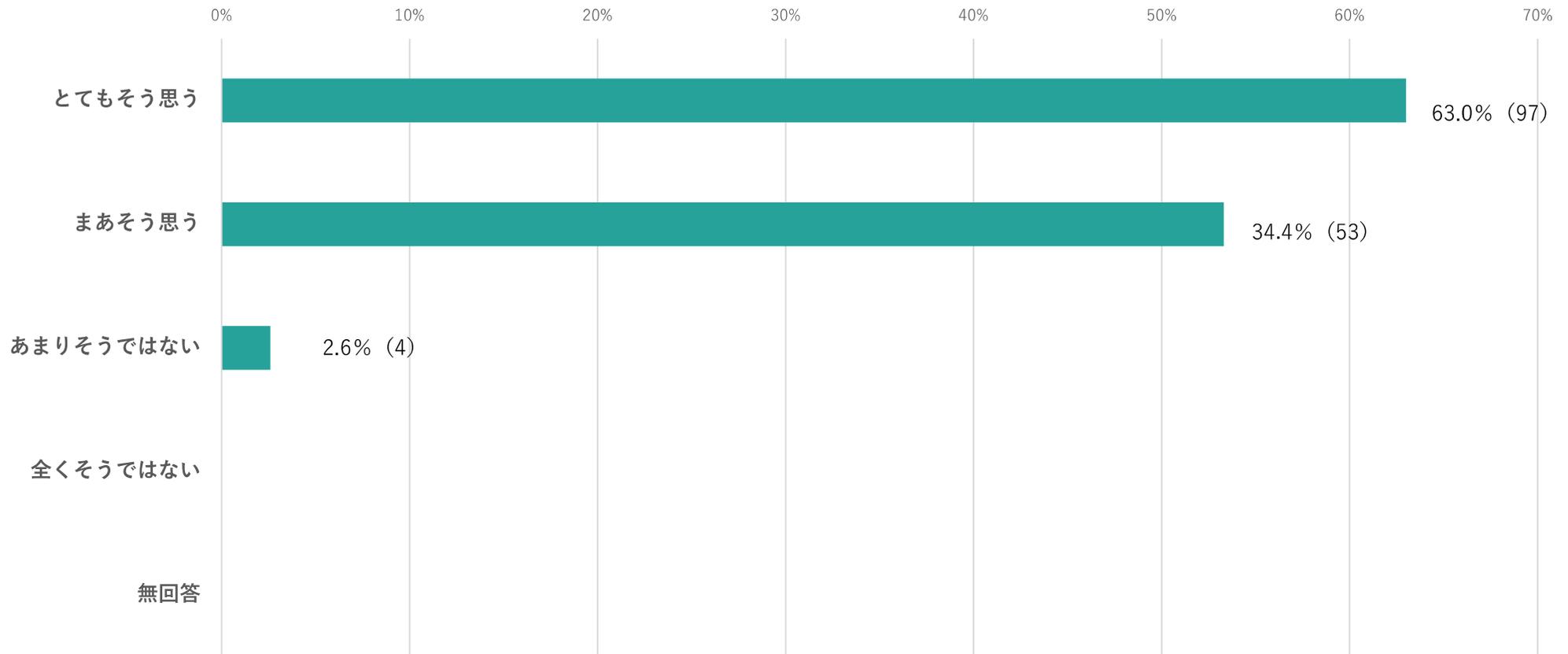


将棋を教える市民先生

市内全15校を学童保育からアフタースクールへ転換、市民先生も大活躍

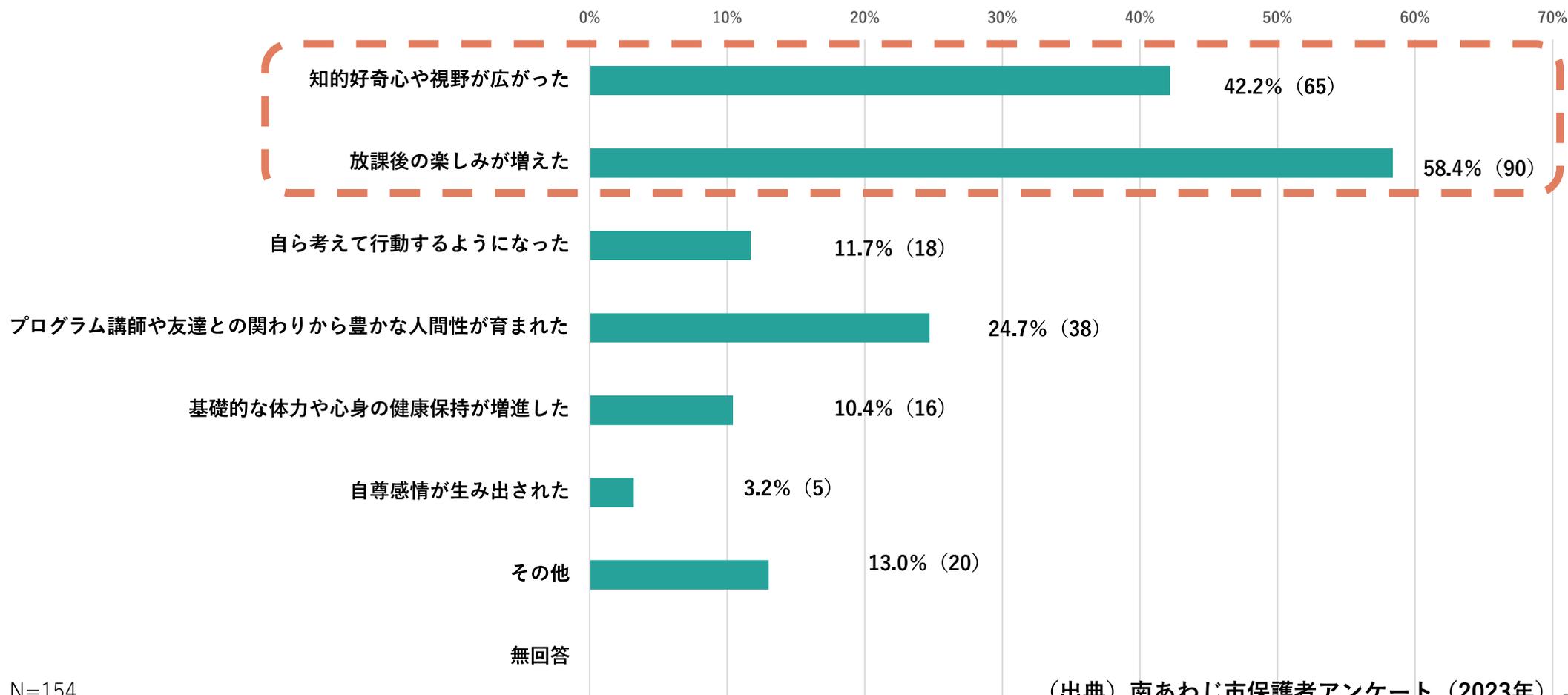
CASE 2 : 南あわじ市_9割以上の方が子育てに安心感

Q.放課後事業（アフタースクール・学童保育・放課後子ども教室）があることは、保護者の方の子育てにおける安心につながっていますか。



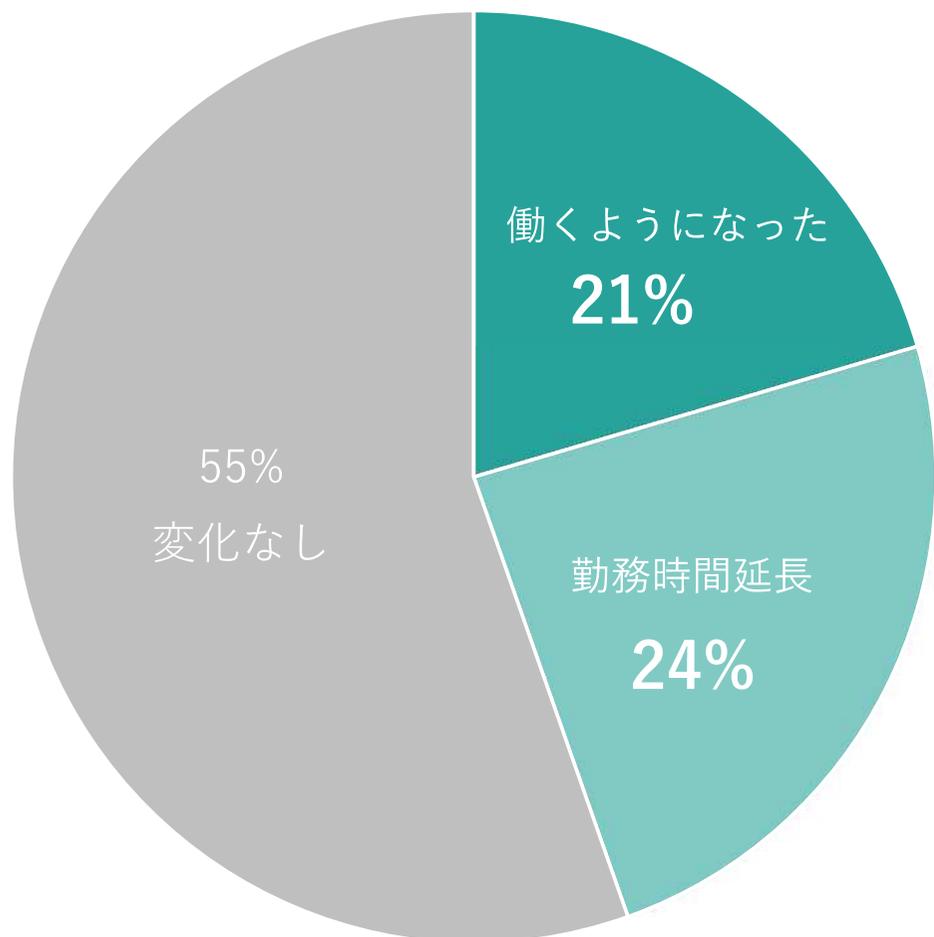
CASE 2 : 南あわじ市_子どもたちの変化

Q.体験活動（プログラム）に参加する前とした後で、子どもたちにどのような変化がありましたか。
（複数回答）



N=154

（出典）南あわじ市保護者アンケート（2023年）



Q.放課後事業（アフタースクール）があることで、実際に保護者の方の働き方が変わりましたか。

45%が働き方に変化

（出典）南あわじ市保護者アンケート（2023年）よりアフタースクール利用者83名が対象

CASE 3 : 茨城県つくば市_アフタースクールモデル事業

希望するすべての児童が、安心・安全に過ごし、多様な体験活動を行う
放課後の居場所づくり

2025年4月にアフタースクールモデル校を1校開校

自由遊び

多様な選択肢のある
日常の環境づくり

みんなでわいわい
ボードゲーム
ブロックなど



ひとりでゆっくり
宿題・読書など



思いっきり体を動かす
校庭で外遊び
体育館でスポーツ



通常プログラム (体験活動)

地域の方による
講師プログラム



子ども自身の「やりたい！」
から生まれる活動



自分で選んで創る
その日、その子の
「最高の放課後」

習い事プログラム (検討中・下期から実施予定)

スポーツ系

文化系

※アフタースクール使用料とは別途参加費が必要です



提供：つくば市

CASE4：渋谷区_クラブコーディネーター事業

放課後総合コーディネーターが習い事プログラムおよび
地域資源をいかしたプログラムを発掘・選定し区内全校で展開



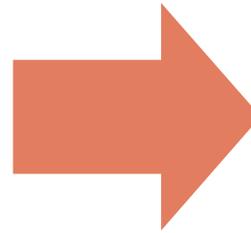
習い事プログラム展開(2020年～)
*プログラミング、理科実験、英語etc



各校に地域資源をいかした
プログラムを提案

CASE5: 川崎市_未来の校庭デザイン大作戦

子どもと地域住民があったらいいなと思う校庭の未来図をつくるために、
双方の声を聴くワークショップを開催。



小学生向け、
地域住民向け
のワーク
ショップを
開催。

それぞれの声
を基に、未来
の校庭イメ
ジビジュアル
を作成

CASE6: 全国の放課後の質向上に向けオンライン勉強会を継続開催

▼2022年度(第1～3回)

放課後NPO アフタースクール 代表理事 平岩 国彦
 放課後の心地よい居場所をつくる上で大事にしたい子どもへの向き合い方
 6.15(水) 10:00-12:00
 オンライン開催・参加費無料

▼2023年度(第4～6回)

放課後NPO
 第4回放課後勉強会 オンライン開催 参加費無料
 子どもの声、願いに寄り添った居場所をつくるには
 6月30日(金) 10:00-12:00
 オンライン開催
 加賀大智さん
 ことば療育 読書塾 読書指導員
 居場所づくり 居場所づくり専門家
 近藤祥美さん
 発達障害 子どもセンタースタッフ 講師

放課後NPO
 第2回放課後勉強会 オンライン開催
 子どもの発達や特性に応じた関わり方 場づくりを考える
 11月12日(土) 13:00-15:00
 オンライン開催
 11/12(土) 13:00-15:00
 オンライン開催 参加費無料

放課後NPO
 第5回放課後勉強会 オンライン開催 参加費無料
 多様な子どもの育ちを支える地域の力
 10月20日(金) 10:00-11:50
 オンライン開催
 ●オンライン開催
 ●地域の大人が思い子どもたち
 ●関係者共集
 ●地域内分科会に関する放課後の活動の学校連携
 ●子どもの育ちを地域で支えたい方
 ●「放課後の居場所づくり」に関心のある方

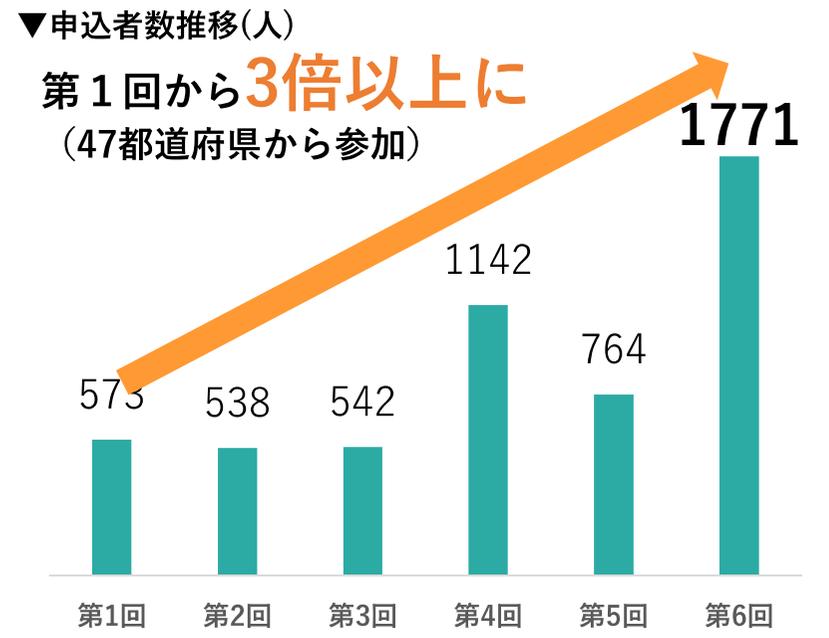
放課後NPO
 第3回放課後勉強会 オンライン開催
 子どもの育ちやそれを支える地域のこれからを考える
 2月22日(水) 10:00-12:15
 オンライン開催
 参加費無料 2/22(水) 10:00-12:15
 オンライン開催 参加費無料

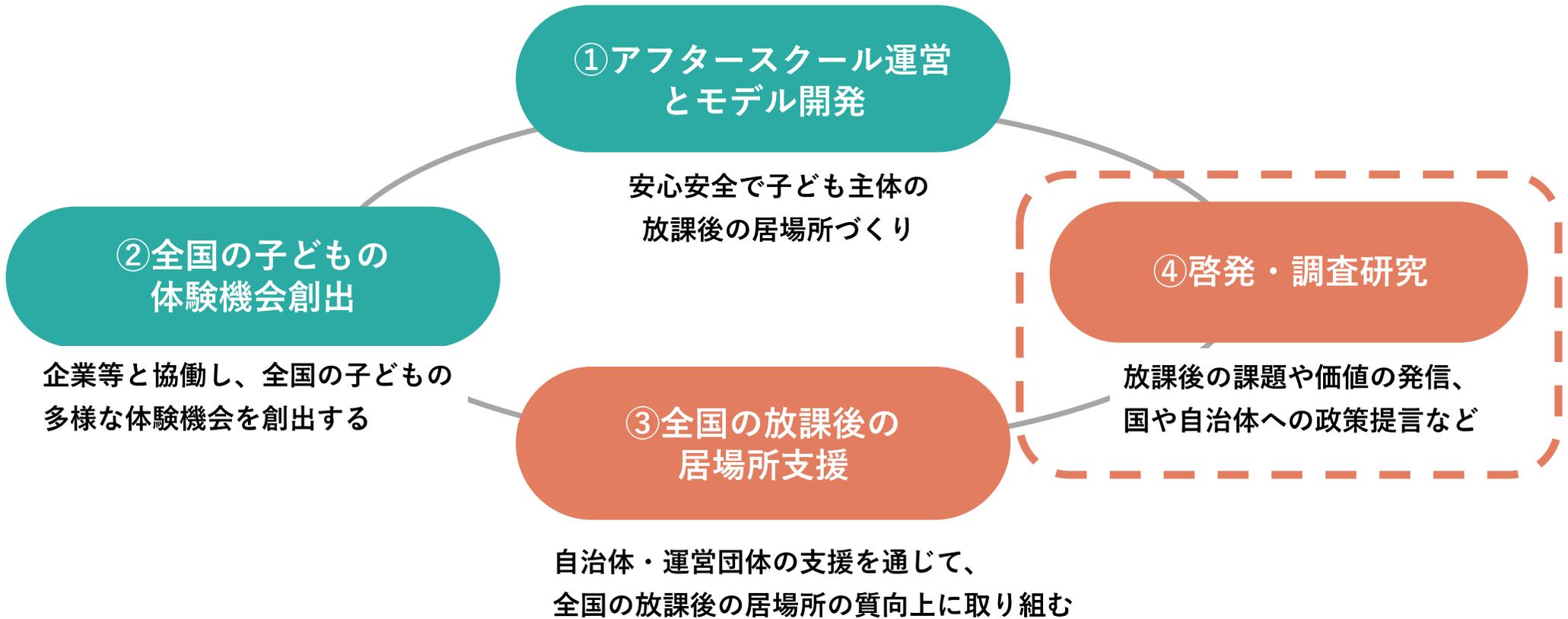
放課後NPO
 第6回放課後勉強会 オンライン開催 参加費無料
 新年度に向けて、子ども支援の基本と実践
 子ども支援か！ 私たちで描く、これからの放課後
 3月14日(木) 10:00-11:55
 オンライン開催 参加費無料

研修実績

オンライン開催 (アーカイブ配信有)

- 延べ参加人数 約5,000人
- 参加実績ユニーク数 2,000人以上
- 全国47都道府県 1,500人以上/回参加





④啓発・調査研究 | 国への政策提言、自治体への啓発

国への政策提言、こども家庭庁との連携

放課後に対する国の予算増や施策強化を求める提言活動を行っています。こども家庭庁と定期的な情報交換や連携も。



2024年6月 こども家庭庁 加藤紘子大臣、盛山文部科学大臣への提言書を提出



2023年5月
こども家庭庁 小倉将信前大臣との対談

地方自治体向けの情報発信

市区町村による放課後施策強化を推進するため、地方自治体向けの情報発信・啓発活動を行っています。

放課後NPO オンラインフォーラム | 参加無料

自治体のこども計画策定と こどもの意見反映

放課後の居場所づくりは
どう変わる?

オンライン開催 2024年5月30日 10:30~12:00

講師: 佐藤 勇輔氏、野口 浩一氏、二瓶 裕規氏、守本 重弘氏、平岩 国泰

オンライン
イベント

インタビュー記事

放課後・学校を 子どもの権利実現の 観点から見直す

池本美香氏

公式note

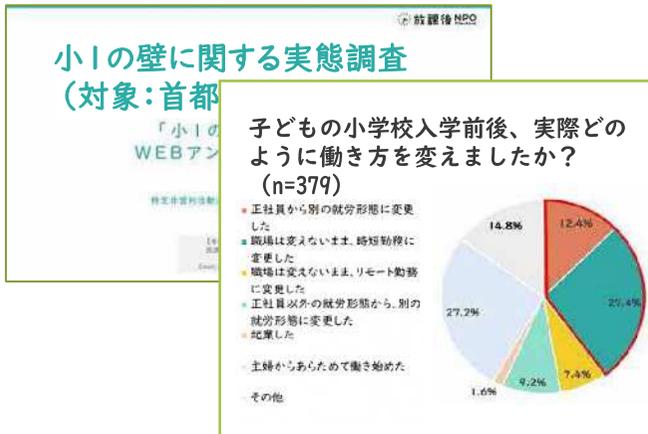


全国の自治体放課後担当者向け
情報誌「放課後マガジン」

④啓発・調査研究 | 課題や放課後の質の可視化

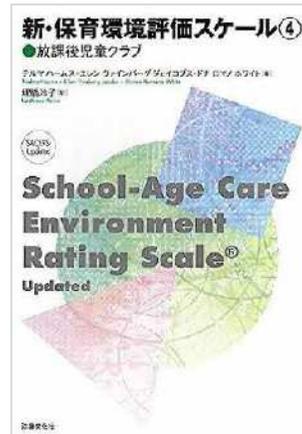
現状課題の可視化

課題認知の促進：実態調査



質と価値の可視化

環境評価スケールの実証実験 & 子どものWell-beingとの因果研究



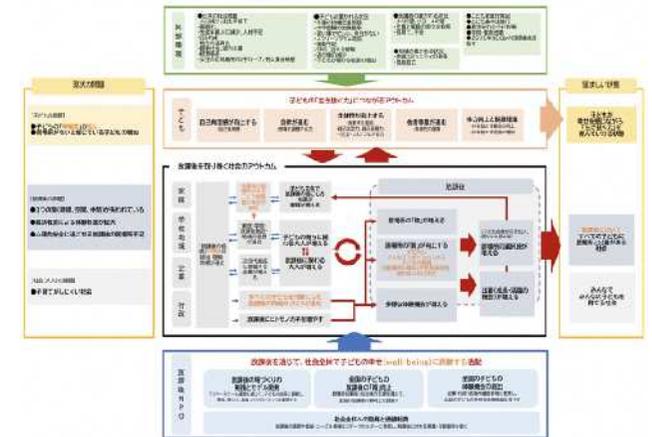
慶應義塾大学
中室牧子先生

「教育に科学的根拠を」

- ・ 「質の高い保育」が就学後の認知・非認知能力に与える効果
- ・ 教育の「質」が子供の学力や非認知能力に与える影響

変革の放課後構造理解

セオリー・オブ・チェンジ(TOC)の作成



チェンジ・エージェント
小田理一郎先生

複雑な構造に
スコープの特定
コレクティブインパクトでの
解決を

NHK：WEB記事「子どもにとってより良い放課後って」



池本さん

子どもたちにとって短くない時間を過ごす場である「学童保育」。なぜそれが、子どもたちにとって居心地がいい場に必ずしもなっていないのでしょうか。

Q なぜこうした状況になっているのでしょうか。

「原因のひとつは、学童保育がこれまで、親が働くことを主眼に整備が進められてきたところにあると思っています。利用時間を延長したり、できるだけたくさんの人数を預かったりしている自治体もあります。大勢が長時間預かってもらえることは、働く親にとっては都合がいいですが、子どもにとってはそれほど長時間滞在したいと思える環境ではないと思います。子どもの側に立った視点が全くないわけではありませんが、親の視点に偏って議論されていて、“子どもにとって”学童がどうあるべきかという議論がちょっと後回しになってきた気がします」



見過ごされてきた放課後の重要性 ～専門家と考える「より良い学童保育」～

NHK：WEB記事「子どもにとってより良い放課後って」



見過ごされてきた放課後の重要性へ専門家と考える
“より良い学童保育”～



池本さん

子どもたちにとって短くない時間を過ごす場である「学童保育」。なぜそれが、子どもたちにとって居心地がいい場に必ずしもなっていないのでしょうか。

Q なぜこうした状況になっているのでしょうか。

「日本は親が働いている場合に限り利用できるという制度になっていますが、海外は子ども自身に学童に通う“権利”があるという考え方で学童保育が整備されています。親が働いている・働いていないに関係なく、子どもたちが親から離れた場所で子ども同士で遊んだり一緒におしゃべりしたり、そういう時間をきちんと保障しなくてはいけないんだという考え方で施設整備をしています。海外では子どもたちの『遊ぶ権利』が非常に重視されているんです。こどもの権利条約31条では『子どもは休んだり、遊んだり、文化芸術活動に参加したりする権利をもっている』とされています。こうした精神にのっとり、学童保育も『親が働くため』ではなく『子どもたちにとって必要な体験を保障するため』に開かれています。親の就労状況にかかわらず、放課後に子どもたち自身が望む活動に取り組める時間を国として保障して、子どもたちが学校生活だけでは学べないことを学べる場を提供することを目的としています」

(出典) NHK 日本総合研究所：池本美香さんコメント

品川区：すまいるスクールの未来



■品川区：すまいるスクール勝利の方程式

土台は完璧、活動内容の充実で、鬼に金棒！！

子ども主体の運営

プログラムの充実

すまいるスクール：総合コーディネーターの配置

無償・有償のプログラム × 低所得家庭へクーポン
品川区企業 × 区民先生

放課後の充実による親子のウェルビーイング実現
(格差を解決し続ける品川区だからこそ体験格差解消・小1の壁打破を！)

■品川区：放課後を改革することで見えてくる可能性（他地域での事例含む）

放課後スタッフが先生をサポート
（授業・給食サポート、春休み期間の延長）

不登校傾向の子どもの居場所に
（例：朝から放課後スタッフを配置し、朝の預かり対応と不登校対策を両立）

部活地域移行に際し、小中共通の講師が見つかる
（すまいるスクールの講師が、中学の部活も）

探究学習を子どもが放課後に行う
（授業で興味をもち、放課後にじっくりと探究）

放課後の充実は学校教育にも好影響
（子どもと保護者のために両者が協力するメリットは大きい）

品川区の放課後を
ゴールデンタイムに！！



